

平成 2 9 年 第 2 回 定 例 会
(第 4 日 目)

津 別 町 議 会 会 議 録

平成 29 年第 2 回 津別町議会定例会会議録

招集通知 平成 29 年 3 月 6 日

場 所 津別町議会議事堂

開会日時 平成 29 年 3 月 13 日 午前 10 時 00 分

延会日時 平成 29 年 3 月 13 日 午後 2 時 53 分

議 長 鹿 中 順 一

副 議 長 佐 藤 久 哉

議員の応召、出席状況

議席 番号	氏 名	応 召 不応召	出席 状況	議席 番号	氏 名	応 召 不応召	出席 状況
1	篠 原 眞 稚 子	○	○	6	渡 邊 直 樹	○	○
2	小 林 教 行	○	○	7	山 内 彬	○	○
3	村 田 政 義	○	○	8	巴 光 政	○	○
4	乃 村 吉 春	○	○	9	佐 藤 久 哉	○	○
5	高 橋 剛	○	○	10	鹿 中 順 一	○	○

地方自治法第 121 条第 1 項の規定により説明のため出席した者の職氏名

(イ) 執行機関の長等

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
町 長	佐藤 多一	○	監 査 委 員	藤村 勝	○
教 育 長	宮管 玲	○	選挙管理委員会委員長		
農業委員会委員長					

(ロ) 委任または嘱託

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
副 町 長	竹俣 信行	○	生涯学習課長	小野寺祥裕	○
総 務 課 長	齊藤 昭一	○	生涯学習課参事	藤原 勝美	○
総 務 課 主 幹	小泉 政敏	○	学校給食センター主幹	阿部 勝弘	○
住民企画課長	伊藤 泰広	○	農業委員会事務局長	横山 智	○
住民企画課主幹	篠原 裕佳	○	選挙管理委員会局長	齊藤 昭一	○
住民企画課主幹	森井 研児	○	選挙管理委員会次長	小泉 政敏	○
保健福祉課長	川口 昌志	○	監査委員事務局長	松橋 正樹	○
保健福祉課主幹	小野 淳子	○			
産業振興課長	横山 智	○			
産業振興課参事	小野 敏明	○			
産業振興課主幹	安瀬 雅祥	○			
産業振興課主幹	近野 幸彦	○			
建設課長	石川 篤	○			
建設課参事	竹内 秀行	○			
会計管理者	五十嵐正美	○			
総務課庶務担当主査	菅原文人	○			
住民企画課財政担当主査	松木 幸次	○			

会議の事務に従事した者の職氏名

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
事 務 局 長	松橋 正樹	○	事務局臨時職員	安瀬 貴子	○
事 務 局 主 査	山田志津子	○			

会 議 に 付 し た 事 件

日程	区分	番号	件 名	顛 末
1			会議録署名議員の指名	3番 村田 政義 4番 乃村 吉春
2	議案	21	平成 29 年度津別町一般会計予算について	
3	〃	22	平成 29 年度津別町国民健康保険事業特別会計予算について	
4	〃	23	平成 29 年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算について	
5	〃	24	平成 29 年度津別町介護保険事業特別会計予算について	
6	〃	25	平成 29 年度津別町下水道事業特別会計予算について	
7	〃	26	平成 29 年度津別町簡易水道事業特別会計予算について	
8	報告	1	例月出納検査の報告について（平成 28 年度 11 月分、12 月分、1 月分）	

(午前 10 時 00 分)

◎開議の宣告

○議長（鹿中順一君） おはようございます。

ただいまの出席議員は全員であります。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付の日程表のとおりです。

◎会議録署名議員の指名

○議長（鹿中順一君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定により、議長において

3 番 村 田 政 義 君 4 番 乃 村 吉 春 君

の両名を指名します。

◎議案第 21 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 2、議案第 21 号 平成 29 年度津別町一般会計予算についてから、日程第 7、議案第 26 号 平成 29 年度津別町簡易水道事業特別会計予算についてまでの 6 件については、会議規則第 37 条の規定により一括議題としたいと思
います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、日程第 2、議案第 21 号から日程第 7、議案第 26 号までの 6 件を一括
議題とすることに決定しました。

日程第 2、議案第 21 号 平成 29 年度津別町一般会計予算について説明を求めます。

住民企画課長。登壇の上、説明願います。

○住民企画課長（伊藤泰広君） 〔登壇〕 おはようございます。

議長のお許しをいただきましたので、この席より議案第 21 号 平成 29 年度津別町
一般会計予算の説明をさせていただきます。

平成 29 年度の予算編成にあたりましては、さきの町長からの町政方針にありましており、国の予算編成の基本方針や地方財政対策概要を注視しながら、総合計画と地方創生事業の推進とともに、人口減少に一喜一憂しない確かな取り組みを進めることを意識しながら作業に取り組んだところであります。

それでは、平成 29 年度予算編成の概要につきまして、さきに別冊の予算に関する資料のほうから簡単ですが説明を行いたいと思います。

予算に関する資料 1 ページをお開きください。

国の平成 29 年度予算編成の基本方針と平成 29 年度地方財政計画の基本的な考え方を抜粋させていただいております。(1) の歳入の編成につきましては、この後 5 ページにあります各項の増減の主な理由、さらに 2 ページにあります (2) 歳出の編成につきましては、7 ページから 8 ページにあります節別の増減につきまして、主な理由を記載しているところです。

総額につきましては、3 ページにあります 2 の財政状況をご覧ください。53 億 6,600 万円の編成で、前年度と比較して 1,000 万円、0.2%の減となります。昨年と比較しまして町営住宅建設事業が減の主な要因となっておりますが、地方創生推進交付金事業を当初予算に組んだほか、ふるさと納税の増額等により、わずかな減となったものがあります。右下のほうの (3) 歳出対比表とグラフをご覧ください。地方財政状況調査、通称、決算統計に基づきまして性質別経費に予算を分解したものです。補助事業の減は町営住宅建設事業の減によるものです。物件費は、地方創生推進交付金事業の委託料及び町道管理の民間委託料、さらにふるさと納税のお礼品等の増により大幅増となっているところであります。また、人件費につきましては、職員分で 530 万円程度、一般職員の分で減となりますが、地域おこし協力隊の増員による報酬等が増加することによりまして、全体では 300 万円の減となっているところであります。

続きまして 4 ページのほうをお開きください。財政状況の各指数を表しております。財政力指数は大きな変化が無く、基本的に依存財源により賄われていることを示しているということです。起債制限比率は地方債の残高と内容、性質等で数値が変わるものですが、残高の減とともに交付税措置のあるもの、また住宅家賃収入などの財源があるものを主に借り入れしている状況でありまして、低い状況となってきております。

経常収支比率につきましては、投資事業の状況や普通交付税の額に大きく左右されるものですが、おおむね 80%前後の状況が続くものと想定されます。実質公債費比率は、起債制限比率と同様に低減傾向にあります。今後想定される大規模事業の財源確保の問題とともに、現在、比較的優良といえる各指標を維持できるように、適正な財政運営を行うことが必須と心がけてまいります。

5 ページ、6 ページは歳入歳出の款別、当初予算額の比較となるところです。

それから 7 ページ、8 ページは当初予算款別、節別の内訳表であります。節別に前年度比較をしている表となっております。

9 ページから 22 ページは、各事業別の前年度の比較表となっております。

続きまして 23 ページから 54 ページまとめてなのですが、これは歳入の基本となるもの、町税の課税内容、使用料手数料の内容と実績、町有住宅の状況、町有地及び町有建物の貸付状況が記載されております。

55 ページから 56 ページのほうをご覧ください。備荒資金組合納付金の状況となっております。この資料につきましては、27 年度末で、総額 3 億 2,100 万円余りの納付額となっているところであります。

次、57 ページから 58 ページは、各基金の原資現在高及び基金充当先事業等の資料となります。全体では 27 年度末に比べまして、本年、28 年度末においてもおおむね同額程度となる見込みとなっております。

59 ページの 29 年度の基金充当先事業ですが、枠の関係で小さくなっていることをご了承ください。なお、各委員会で配付いたしました概要版においては同様な表をもう少し大きく掲載しておりますので、そちらを参考にいただければと思います。財政調整基金におきまして一般財源の不足分として 2 億 8,492 万 2,000 円、以下、各事業に充当いたしまして、総額 5 億 9,612 万 1,000 円を基金から取り崩すこととして予算編成をしております。特に、ふるさと納税を原資としていますふるさとつべつ応援基金からの繰り入れについては増額して各事業の財源とさせてもらっているところです。

続きまして 60 ページから 69 ページまで、これは人件費の算定基礎、職員の定数及び実人数、職員の配置状況についての資料となります。人件費の当初予算の編成は特別職を含みまして一般会計 102 人（前年度対比 1 人増）ということで積算を行ったと

ころです。

70 ページから 81 ページは、負担金・補助金・交付金調べを記載しておりますが、81 ページ最後のほうに件数と金額の区分別の集計を行っておりますので参考にさせていただければと思います。

82 ページ以降、予算の積算に関する資料を添付しておりますが、104 ページをお開きください。一般会計におきます公債費年度別償還予定表であります。平成 28 年度までの起債に対しまして、平成 29 年度年度末現在高で約 56 億 9,000 万円、その後の新規借り入れを見込まないと、平成 31 年度末現在高は約 46 億 7,000 万ということになる表であります。

これから予算書にて説明させていただきますが、事業等に係る参考図面を予算に関する資料の 139 ページから、それ以降に掲載しておりますので参考にさせていただければと思います。なお、予算書のページ数は 139 ページの裏面のほうに記載しておりますので参考にしてください。

それでは予算書に基づきまして、説明したいと思います。議決事項については最後に説明いたします。資料の事項別明細書に従いまして、歳出、歳入の順に、主に事業内容と前年度と比較した特徴的な点について説明させていただきます。予算額についての朗読は省略させていただきます。

また、人件費につきましては、予算書の 480 ページから 485 ページにおきまして、増減の状況、理由、積算内容等を記載しております。各目におけます給与費、人件費にかかる給与費の説明につきましては省略いたしますことをご了承ください。

それでは、46 ページをお開きください。本町の予算書につきましては、地方自治法施行規則に則りまして、款項目ごとの予算と前年対比、さらに歳出については、その財源内訳を記載しております。ただし、歳出につきましては事業別の予算書としておりますので、目ごとの節内訳とは別に、説明の欄において事業別の予算を掲載、その事業ごとの財源内訳を左側のほうに記載しているということになっております。

款 1 議会費につきましては、項 1 議会費、目 1 議会費で、前年対比 57 万 9,000 円の増となっておりますが、各常任委員会の道内視察経費であります旅費等議会運営経費の増が主な理由です。47 ページの下段の議員報酬等につきましては、49 ページのほう

になります。議員 10 人分の報酬と、人件費と費用弁償のみの計上となっております。同ページの議会運営経費は、臨時職員の賃金、議長交際費、議会議員の旅費である費用弁償、その他議会運営にかかる経費となっております。52 ページから 53 ページをお開きください。53 ページの議会報発行経費は、議会報の印刷経費等の予算となっております。

次、款 2 総務費となります。項 1 総務管理費、目 1 一般管理費につきましては、前年対比 455 万円の減となっておりますが、これは給与費の減が主な要因となっております。54 ページから 55 ページをお開きください。55 ページの表彰審議委員会経費、特別職報酬等審議会経費、さらに 57 ページになりますが行政改革推進委員会経費、情報公開・個人情報保護審査会経費、行政不服審査会経費につきましては、各委員の報酬と費用弁償のみの予算となっております。次の総務管理経費は、町長交際費を含みます庶務関係の経費を包含しております、前年対比 214 万 7,000 円の増となっております。63 ページをお開きください。18 備品購入費につきましては、これは紙折り機の更新の予算となっております。また、次に 65 ページの上段になります。負担金で二水郷交流事業ですが、これは台湾の二水郷から郷長、議員の方々が来られまして、今のところ 5 月 20 日に予定されています友好都市 5 周年記念式典事業などの経費につきまして、実行委員会に対する負担金として計上させてもらっています。また、その下の津別町・二水郷中学生交流事業につきましては、7 月の夏まつりに合わせまして来られる二水郷からの中学生の受け入れ経費について、こちらも実行委員会に対する負担金として計上しております。次に、電算化推進経費につきましては、本町におきまして統一して使用している電算関係の経費について予算化しているもので、前年対比 541 万 6,000 円の増となっておりますが、67 ページの上段の負担金ですが、全体の基本となるシステムの保守・管理を行っている北海道自治体情報システム協議会への負担金がネットワーク強靱化経費ということで増となっております。また次の総合行政ネットワーク経費につきましては、行政間のネットワークシステム、俗に言う LG-WAN と呼ばれていますが、それに係る経費となっております。先のネットワーク強靱化経費とは、この LG-WAN と一般のインターネット回線、さらにマイナンバーに係る回線系統を分断し、この三つを分断しまして安易に情報を交換できないようにするものです。

次に、地域情報化経費につきましては、テレビ難視聴対策及び地域の情報化のために布設した光ファイバー網に関する維持経費になります。

69 ページのほうをお開きください。一番下の職員研修経費につきましては、内容は71 ページになるのですが、職場内研修のための講師派遣費用また職員が研修会等に参加する経費となっております。

次、71 ページの下段になります。職員福利厚生・健康管理経費は職員の健診経費を主に予算化したものであります。次 72 ページから 73 ページをお開きください。目2 広報費ですが、前年対比 152 万 5,000 円の増となっております。広報活動経費の増が要因となっております。73 ページの広報活動経費は町の広報誌を含め広報関係の予算を組んでおりますが、13 節委託料で本年から情報発信・PR業務としまして、インターネットテレビ番組として仮称ですが「タウンニュースつべつ」というものを定期的に配信する委託料を予算化させてもらっております。また一番下 18 節備品購入費になりますが、基本的に庁舎内に置くデジタルサイネージ1 台分を計上させてもらっています。74 ページから 75 ページをお開きください。インターネット関連経費は、津別町のホームページの維持経費ですが、本年は、ホームページの更新方法の研修会を行うこととし、役務費で講師の派遣手数料を計上しております。

次に、目3 財政管理費ですが、基金積立金の増で 1,549 万 8,000 円の増となっております。財政管理経費は財政担当部局に係る経費ですが、本年、委託料として公会計の財務諸表公開に係る財務支援等業務を計上させていただいております。財政調整基金積立金は利子分の積み立てのみの計上。次 77 ページになりますが、減債基金積立金は町営住宅使用料の一部を公営住宅債の返済に充てることといたしまして積み立てしておりますが、昨年対比 746 万 2,000 円の増としております。また公共施設等整備基金積立金は特定公共賃貸住宅使用料等を将来の改修費に充てることとして一部積み立てしております、前年比 628 万円の増となっているところであります。

目4 会計管理費は前年対比 2,000 円の微減です。出納事務経費としまして、会計課における賃金等の経費を予算化しているものです。目5 財産管理費は前年対比 1,496 万円の増ですが、複合庁舎建設計画策定事業等の増が主な要因となります。

78 ページから 79 ページをお開きください。複合庁舎建設計画策定事業は新規の事業

で、まちなみの将来像を含めた構想をたてるものとしまして複合庁舎等まちなみ再生基本計画の策定業務の委託料ほか、視察旅費等の経費を予算化しております。

次の庁舎等維持管理経費は、文字通りの庁舎、林業研修会館、議事堂等の維持管理経費で需用費と施設管理委託費が主なものとなっております。

めくりまして 82 ページから 83 ページをお開きください。町有建物等維持管理経費ですが、これは職員住宅や他に属さない行政財産等の管理経費になっております。

85 ページの中段 15 節工事請負費になりますが、既存建物解体工事、豊永職員住宅に関しまして解体工事をするものです。予算に関する資料 139 ページに場所図が記載してありますので参考にしてください。次の開基記念之碑移設工事は、活汲の国道沿いにあります開基記念之碑が損傷が激しいということから、場所を若干ずらしまして更新するというものであります。また 17 節公有財産購入費は、東 4 条の友楽園、旧網走信金津別支店の横の民有地を購入するもので、町有地の一体利用をするためにということで購入するものです。

86 ページから 87 ページをお開きください。町有住宅維持管理経費ですが、公営住宅や職員住宅に属さない、例えば元教員住宅などがあたりますが、それらを町有住宅として管理している経費であります。

87 ページの下ほうの 15 節工事請負費になりますが、緑町町有住宅 5 棟 7 戸分の解体工事を予算計上しています。これは予算に関する資料 140 ページに場所図を示してありますので、参考にしてください。

88 ページから 89 ページをお開きください。公用車維持管理経費ですが、集中管理しております公用車の維持管理経費となります。29 年度は 18 節備品購入費で低公害車 1 台、10 人乗りワゴンタイプの車 1 台を購入する予定で予算計上しております。

次 90 ページから 91 ページをお開きください。国土調査事業は、地籍データを管理する経費となっております。修正業務の委託料のみです。土地開発基金積立金は、利子分のみを予算化しております。

次、項 2 地域振興費、目 1 企画総務費は前年対比 1 億 770 万 3,000 円の増ですが、ふるさと納税関連で納税額を前年対比 8,000 万円増と見込んだこと、また基金積立金につきまして目 3 の企画振興費から計上目を組み替えたことが増の要因となっております。

ます。また環境基本計画推進委員会経費につきましては、津別町環境基本計画の推進について調査、検討する委員会の経費となっております。公害対策経費については、網走川の水質調査委託料のみの計上となっております。土地利用規制等経費につきましては、土地利用規制対策に係る道補助金に係る経費の計上となっております。

次 92 ページから 93 ページをお開きください。先に確認なのですが、92 ページの下のほうの財源内訳のその他の欄の一番下にある数字 405 万 3,000 円ですが。印刷が薄く 1,053 のように見えるかもしれませんが、すみませんが 4,053 が正しいので、加筆等をお願いいたします。

次、93 ページ企画調整事務経費になりますが、本年予算はふるさと納税関係経費を分離いたしまして、広域的な企画の組織等への対応等を主に予算計上しております。次、下段の人づくり・まちづくり活動支援事業は 95 ページにわたりますが、まちづくりのリーダー的人材の育成と団体の自主的活動を支援するもので、本年より年間 400 万円の上限をもって補助しようとする経費としております。400 万円の限度額については、個人町民税所得割の 25%の 1 割、つまり普通交付税におきまして税の 25%は基準収入額と見られていないのですが、その 1 割を自由なまちづくりに還元することを基本として予算化させてもらっております。ミレニアムの森管理経費は、上里のミレニアムの森に関する経費です。次、空き家等撤去促進事業ですが、不用になり適正に管理できない空き家の撤去費用の 2 分の 1 を上限 50 万円で補助するもので、25 年度より行っています継続事業になります。

続きまして、地域おこし協力隊事業につきましては、これは特別交付税の財源措置をもって、起業、移住につなげる事業として行っているもので、現在 9 名の隊員が町内に移住しております。29 年度につきましては、さらに 4 名の隊員を増やすことを基本として予算計上をさせてもらっております。

飛びまして 98 ページから 99 ページをお開きください。まちなか再生事業ですが、本年 3 年目となりますが、再生協議会の委員報酬等をこちらで計上いたしまして、共同研究の委託料等は、地方創生事業の予算措置となるところです。次の奨学金返還支援事業につきましては、本年からの新規事業となります。津別町内に居住し、新規就労する方が奨学金の返還をしている場合、その額のうち一定額、津別町の奨学金の返

還額を上限といたしまして支援するもので、大学修学者であれば、年間12万、10年間で120万円を限度として支援することとなります。この支援によりまして、町内への就労と移住を促すとともに、若年者の生活安定を目指すものであります。

次のふるさと納税推進経費につきましては、ふるさと納税の各種経費とともに、返礼品を予算に対応しているものです。なお、返礼品については納税額の2分の1以内で、地場産品や町内で受けられるサービスを基本としているところです。また101ページの記載になりますが、本年度からふるさと納税を管理するシステムを使い…失礼しました、記載にあります使用料でふるさと納税管理システム使用料が計上していますが、本年からふるさと納税を管理するシステムとして使いまして、より間違いのない迅速な対応と業務量の軽減を図ることとしております。

次の地域振興基金積立金は利子分積み立ての予算化です。ふるさとつべつ応援基金積立金につきましては、企画振興費からのこれは組み替えて、納税額1億2,000万円として予算化し、半分を経費の財源に、半分を基金に積み立て、翌年度以降の事業に充当するものであります。目2企画開発費は、前年対比1,932万1,000円の増ですが、森の健康館の改修工事が増の要因となっております。開発調整業務につきましては、上里の町民の森関連の負担金と地域開発関連の旅費等を予算化しているものであります。次の森の健康館管理業務は健康館の維持管理経費を中心に予算化しているもので、29年の特記事業としましては、105ページの記載となります。中ほど15節工事請負費で外壁等の改修工事、屋根等の塗装工事、滅菌装置の更新、専用水道の監視装置設置、また各客室でのW i f i利用が可能となります設備投資となるところです。また18節備品購入費でプレハブ冷凍庫の購入も予算化しているところです。工事の内容につきましては、予算に関する資料141ページ、142ページを参考にしてください。

次106ページから107ページをお開きください。町民の森自然公園管理業務になりますが、管理委託料を中心に維持管理費を計上しているものです。108ページから109ページをお開きください。次の目3企画振興費は、前年対比4,208万8,000円の減となりますが、これはふるさと応援基金積立金の目組み替えが主な要因となっております。ふるさと定住促進事業につきましては、新築、改築、中古住宅購入に対しまして、一定の要件を満たしている場合に補助する制度で継続して計上しております。地域振

興施設管理業務につきましては、相生総合交流ターミナル施設、相生道の駅、また相生物産館とも呼んでおりますが、そちらと相生鉄道公園を含めました周辺施設の維持管理経費となっております。111 ページになりますが、29 年度は 15 節工事請負費といたしまして、相生鉄道公園プラットホームと遊歩道の整備を予算計上しております。これは予算に関する資料 143 ページに図面等が記載されておりますので、参考にしていただければと思います。また 18 節備品購入費ですが、道の駅内の商品 Gondola と壁掛け式デジタルサイネージを購入することとしております。

次 112 ページから 113 ページをお開きください。相生活活性化プロジェクト事業ですが、これは地域おこし協力隊員らによりまして相生活活性化の拠点施設としまして旧相生母と子の家である相生アートコミュニティ施設の管理経費を予算化しているものであります。下段の多目的活動センター整備事業ですが、これは 115 ページをお開きください。15 節工事請負費と 17 節公有財産購入費ですが、国道から見まして多目的活動センター、さんさん館の裏側の空き地を買い取りまして駐車場としての舗装工事と物置を設置するものです。予算に関する資料 144 ページに工事概要を記載しておりますので参考にしてください。

次、多目的活動センター管理運営経費ですが、臨時職員 2 名を含みますさんさん館の維持管理経費を中心に、運営協議会の催し等にかかる事業費補助を含め予算化させていただいております。119 ページになりますが、29 年度は 18 備品購入費でデジタルサイネージ 1 台と、カフェ用のテーブルとイスを増やす費用を計上させてもらっております。続きまして下段の体験交流施設管理運営経費は、指定管理者が「みいとイン」として管理している施設に係る経費です、121 ページをご覧ください。18 節備品購入費につきましては、これは自走式草刈機の購入費用であります。

次、目 4 公共交通対策費になりますが前年対比 826 万 3,000 円の減ですが、給与費の減が主な要因です。123 ページをご覧ください、公共交通対策経費につきましては、津別町と美幌町、北見市を結ぶ生活路線の維持経費といたしましてバス運営会社に応分を負担金として計上しているところであります。次のバス保管車庫管理経費につきましては、車庫の維持管理経費について計上しておりますが、29 年度は、125 ページの 18 節備品購入費で高圧洗車機の購入を予定しております。なお町の公用車の洗車に

についてはこちらの洗車機を使用している状況です。次の公共交通確保対策事業基金積立金については、これは利息分の積み立てになります。続きまして目5 地方創生事業費につきましては、前年対比1億470万9,000円の増ですが。交付金事業といたしまして始めて当初予算化したもので、昨年の額は総合戦略会議の報酬や単費分の補助経費のみとなっております。まずは総合戦略推進事業ですが、総合戦略会議の委員報酬等の計上であります。交付金事業の推進、また検証を行う会議となっております。続きまして地域特産品販路拡大支援事業につきましては、127ページをご覧ください。これは単独事業といたしまして、見本市等に出展する際の費用を企業に補助する継続事業となっております。次、まちなか再生とまちの賑わい創出事業につきましては、委託料の内容といたしまして、全体の計画推進についての共生のまちづくりマネジメント支援事業、空き家等の全戸調査を行いまして利活用を検討する空き家等利活用事業、3年目になりますが筑波大学との高大連携事業を含みます共同研究であるまちなか再生研究業務、28年度の補正予算で行っていますがVR、ヴァーチャルリアリティー作成業務の更新としての基本構想策定支援業務となります。また、まちなか再生協議会への負担金事業としまして、これは人材育成や特産品開発業務の予算としております。

次の再生可能エネルギーの利活用推進事業につきましては、委託料といたしましてバイオマスによる熱供給システム全体のプランを策定する業務、またレーザー航測により津別町の森林等の現況を把握する森林解析業務、そして、その結果を活用いたしますICT活用基盤構築業務となっております。また、負担金事業といたしまして再生可能エネルギーマネジメントセンター設立に向けた準備会の経費を計上しております。最後に障がい者・生活困窮者の働く場の創出事業ですが、129ページになります、13節委託料といたしまして、社会福祉協議会、また船橋市の福祉団体及びその系列の津別町に起業した会社等によりまして引きこもり者の社会復帰を目指す場所づくりや、障がい者等の雇用拡大を図ろうとするものであります。項3 徴税費、目1 税務総務費ですが、前年対比824万7,000円の減となっておりますが、これは給与費の減と税務事務経費で土地鑑定評価の業務を昨年行ったということが減の主な要因となっております。130ページから131ページをお開きください。固定資産評価審査委員会経費につきましては、委員の報酬等を計上しているものです。税務事務経費は税務関係の一般事

務経費を計上しておりますが、本年は3年に1度の土地鑑定評価委託料及び情報システム協議会への負担金がなくなっていることから、目全体の減が大きくなっているところです。132ページから133ページをお開きください。目2賦課徴収費ですが、前年並みの予算計上となっております。賦課徴収事務経費は町税の賦課及び徴収のための事務経費を計上しているところです。

続きまして134ページから135ページをお開きください。項4戸籍住民登録費、目1戸籍住民登録費は、これは給与費の増によりまして前年対比27万6,000円の増となっております。

136ページから137ページをお開きください。住民基本台帳ネットワークシステム経費ですが、現在、住民基本台帳につきましては各市区町村を通じまして、ネットワークのシステムが確立されておりまして、その維持管理にかかる事務経費を計上しております。次の戸籍住民登録経費は、法定受託業務であります戸籍事務等の事務経費となっております。

138ページから139ページをお開きください。戸籍情報総合システム経費につきましては、本町は既に戸籍事務の電算化がすべて終了しておりまして、そのシステム経費を中心として事務経費を計上しております。項5選挙費は29年度は予定されている選挙がないことから大幅減となっております。目1選挙管理委員会費は、委員会の事務経費で給与費のほか141ページになりますが、選挙管理委員会経費といたしまして定例委員会の委員報酬等費用を、また選挙管理委員会事務経費といたしまして143ページに記載の事務経費を計上しております。なお28年度は、142ページに記載の通り、参議院選挙及び町議会選挙にかかる費目を設定しておりました。項6統計調査費ですが、前年対比の増は、給与費に係るものです。

144ページから145ページをお開きください。作付動向調査経費は、これは津別町独自で行っている調査で、調査員の報酬を計上しております。委託各種統計調査経費につきましては、29年度は工業統計、住宅・土地統計、就業構造基本調査が予定されておりまして、それらの事務経費を計上しております。

146ページから147ページをお開きください。項7監査委員費、目1監査委員費はほぼ前年並みの計上です。監査委員経費につきましては、学識経験者監査委員と議員選

出監査委員 2 名の報酬等の計上です。監査事務局経費は、議会事務局と事務局を兼務しておりますので、給与費はなく、一般事務経費のみの計上となっております。

次に 148 ページ、149 ページをお開きください。款 3 民生費になります。項 1 社会福祉費、目 1 社会福祉総務費につきましては、前年度対比 8,624 万 6,000 円の増となっておりますが、障害者支援事業経費と国民健康保険事業特別会計への繰出金の増がその要因となっております。149 ページの下段の民生委員経費、それから 151 ページの民生委員推薦委員経費は、委員の報酬等の経費になります。次の殉公者追悼式経費は、年 1 回行っております追悼式経費となっております。それから障害者総合支援事業経費ですが、153 ページの下段から記載しております扶助費が主なもので、特に 155 ページになります介護給付費・訓練等給付費と障害児給付費が合わせて 4,000 万円程度の増となっているところであります。次、地域生活支援事業経費につきましても 157 ページの下段のほうにあります扶助費が主な予算となっております、さまざまな支援を行っているところであります。本年はその上の補助金といたしまして予算計上しておりますが、新規に社会福祉協議会が主体となりまして移送サービスに取り組むこととなっております。

続いて 158 ページから 159 ページをお開きください。心身障害者等扶助経費は、記載の 20 節扶助費のみの経費となっております。重度心身障害者医療費助成経費につきましても、扶助費を中心としての事業となっております。次の福祉有償運送運営協議会経費及び地域福祉計画策定委員会経費は委員の報酬等を計上したものであります。160 ページから 161 ページをお開きください。社会福祉管理経費につきましては、福祉関連の事務経費を計上しております。163 ページになりますが、補助金におきまして民生委員・児童福祉委員活動経費を負担し、町政に協力をいただいているところであります。また次の社会福祉協議会助成経費につきましては、補助金といたしまして、社会福祉協議会の事業で財源のない人件費相当分として負担しているところです。次の老人医療給付事業については、旧老人保険事業に係る請求等があった場合に対応する経費として残しております。

次、165 ページとなります社会保障事業基金積立金につきましては、平成 26 年度以降の地方消費税の増税分について交付されたものを基金として積み立てたうえで、福

社事業等に充当するもので、消費税増税分見込み額を計上しております。次の国民健康保険事業特別会計繰出金につきましては、保険基盤繰入金や事務費等の法定繰り出しに加えまして、独自施策の事業に対して法定外繰り出しを計上してはりましたが、医療費の伸びや財源調整を行っていた基金がわずかになったことから、赤字分として当初より 5,000 万円の法定外繰り出しを計上したところであります。なお、28 年度におきましても予想以上の医療費の伸びがあったことから、補正予算で 5,000 万円の法定外繰り出しを行っております。

次の介護保険事業特別会計繰出金につきましては、事務費や給付費の一定割合等、法定繰り出しとともに、地域支援事業などへの繰出金を合わせて計上しているところです。目 2 社会福祉施設費につきましては、前年対比 75 万 6,000 円の増ですが、共和地区集会施設の工事費が増の要因となっております。寡婦住宅管理経費は、維持管理経費のみの計上となっております。次の共和集会施設管理経費も同様でありますが、めくりまして 169 ページをお開きください。15 節工事請負費としまして 29 年度に玄関の段差解消を目的としました玄関改修工事を予定しているところです。168 ページの目 3 地域包括支援センター費ですが、これは給与費のみ計上しております。

次、170 ページから 171 ページをお開きください。目 4 国民年金費ですが、国民年金事務経費といたしまして法定受託事務の経費を計上しております。法に基づきまして届出書等の電子媒体化を図ることからシステム改修にかかる北海道自治体情報システム協議会負担金が計上されまして増となっているところであります。目 5 老人福祉費は前年対比 666 万 1,000 円の減ですが、これは福祉バスの需用費等の減が主な要因となっております。老人福祉施設管理経費につきましては、老人憩いの家条例に基づきます施設の維持管理経費となっております。29 年度につきましては、173 ページからの 15 節工事請負費になりますが、175 ページにわたりまして活汲寿の家の外壁改修、本岐寿の家の外壁改修工事を計上しています。175 ページ中段の老人クラブ運営経費は全 13 クラブへの運営補助金と老人クラブ連合会創立 45 周年事業といたしまして記念誌の発行経費を計上しております。福祉バス管理経費は、福祉バス 2 台の運行経費を計上しているところです。

次、177 ページになりますが、敬老に係る経費は、白寿・米寿・喜寿に該当する方へ

の記念品の経費を計上しているところです。老人福祉扶助費等につきましては、179 ページの下のほうにあります 20 節扶助費を中心に経費を計上しているものであります。

次の要援護高齢者等支援事業につきましても 20 節扶助費のみの計上となっているところです。次の介護サービス支援事業は 181 ページになります。主に短期入所に係る扶助費、補助金を計上しております。次の老人福祉施設措置経費につきましては、これは 20 節扶助費で計上しています措置費が主なものですが、現在入居している人数で予算計上をしているところです。また養護施設入所判定委員経費につきましては、委員の報酬のみの計上となっております。

次、市民後見人推進事業につきましては、社会福祉協議会に対しまして、あんしん生活サポートセンターの運営を委託する経費であります。福祉寮管理経費は施設の管理経費を、185 ページになりますが、福祉寮運営経費は、施設の運営経費をそれぞれ計上しているものです。そのうち 187 ページの記載になります 18 備品購入費で業務用冷凍庫と電気ポット等の購入の予算を計上しているところです。人材活用センター助成経費は、人材活用センターの運営に係る人件費等を補助金として計上しております。また介護保険施設従事者就業支援等事業につきましては、介護保険施設に従事する従業員不足を鑑みまして、住民の福祉のために施設の運営に支障をきたさないよう、就労する者への補助金を出すことによって従業者の確保を支援する事業であります。福祉基金積立金につきましては利息分のみの計上となっております。目 6 自治相談費は、前年対比 552 万円の増ですが、広域集会施設管理経費の増が主な要因になっております。よろず相談委員経費、189 ページの青少年問題協議会経費については委員報酬のみの計上となっております。

次の花のまち推進事業につきましては、29 年度、花壇の修繕費として需用費の修繕料で予算措置をしております。そのほかにつきましては 191 ページにあります花のまち推進協議会への交付金、花のまち推進事業としての予算措置が主体となっております。次の広域集会施設管理経費につきましては、広域集会施設条例に基づきまして施設の維持管理経費を計上しておりますが、29 年度につきましては、193 ページになりますが、本岐地域農業研修センターの内部改修工事を計上しているところです。

次の自治会活動費につきましては、自治会への交付金と 29 年度につきましては、単

位自治会に貸し出す予定の除雪機3台分の備品購入費を計上しております。住民活動事務経費につきましては、その他住民活動にかかる経費を計上しておりますが、195ページにありますとおり、ふるさとまつりへの補助金、防犯協会への交付金等を予算計上しているところであり、195ページ下段の地域人権啓発活動活性化事業につきましては、本年、29年度道の委託事業といたしまして津別町で人権啓発活動の講演会をはじめとした事業を行うことになったもので、29年度限りの予算措置となるものであります。

続きまして196ページから197ページをお開きください。目7交通安全推進費につきましては、前年対比203万6,000円の減となっておりますが、これは給与費と交通安全啓発指導経費の減が主な要因となっております。197ページ下段のほうですが、交通指導員経費は指導員の報酬等の計上となっております。

198ページから199ページをお開きください。交通安全啓発指導経費は、交通安全車の維持管理費を含めまして、201ページになりますが、交通安全協会運営費補助、それら広く交通安全活動に関する経費として予算計上しているところです。同ページの交通安全施設整備事業は、交通安全対策特別交付金を財源といたしまして、道路ミラー等交通安全施設の整備に充てる経費となっております。一番下段の交通安全施設管理経費は、赤色灯の交通安全施設の維持管理経費になります。

202ページから203ページをお開きください。目8後期高齢者医療費につきましては、前年対比449万3,000円の増となりますが、療養給付費負担金の増が主な要因となっています。事業としては療養給付費負担金の支出事業である後期高齢者医療広域連合市町村業務経費と、後期高齢者医療事業特別会計に法定繰り出しを行う経費のみの後期高齢者医療事業特別会計繰出金の二つの事業となります。項2児童福祉費、目1児童福祉総務費は前年対比657万円の増となっておりますが、子ども・子育て支援事業の増が主な要因となっております。ひとり親家庭等医療費給付事業につきましては、扶助費のひとり親家庭等医療費の支出を基本に関連経費の予算となっております。次の乳幼児等医療費助成事業は205ページになりますが、こちらも扶助費の乳幼児等医療費の支出事務関連経費の計上となります。中段の乳児養育手当支給事業は、20節扶助費のみの計上ですが、これは地方創生事業で1歳までの乳児に対し月額1万5,000円

を支給する事業で、単独事業といたしまして継続している事業であります。未熟児養育医療費給付事業につきましても、20 節扶助費に係る経費を計上しているところであり、最下段のその他児童扶助費経費は、207 ページになりますが、心身障害児等交通費扶助費のみの計上となっております。次の児童遊園地管理経費につきましては、各児童遊園地の維持管理費を計上しているところですが、29 年度におきましては、フェンスを撤去する施設等もありまして役務費や委託料を増やした予算計上となっております。最下段の児童福祉事務経費につきましては、209 ページになりますが、療育訓練施設運営等の負担金のみの計上となります。次の児童手当等扶助費は、児童手当扶助費のみの予算計上、また特別児童扶養手当事務経費につきましては、需用費の事務経費のみの計上となっております。新生児誕生祝品支給事業につきましては、新生児に対しましてニット製品をお祝いとして贈る事業の経費となっております。子育て支援事業経費は、211 ページのほうになりますが、13 節委託料です。発達支援の指導業務委託関連の経費となっております。次の子ども・子育て支援事業につきましては、認定こども園におきます一時預かり事業等の委託経費のほか、津別町独自の補助を含めました運営費の負担金、補助金等の支出を計上しておりますが、昨年よりも 1,000 万円ほど増やしての予算計上となっております。

次に 212 ページ、款 4 衛生費になります。項 1 保健衛生費、目 1 保健衛生総務費につきましては、前年対比 51 万 4,000 円の増ですが、給与費の増が主なものです。213 ページの最も下の段になりますが、地域医療維持助成事業につきましては 215 ページになりますが、丸玉産業津別病院に対しまして地域医療維持としまして 1 億 4,000 万円の補助金を出すものであります。次の保健衛生事務経費につきましては、一般的な保健衛生関連事務経費の計上となっております。また次の環境衛生事務経費につきましては、217 ページになりますが、関係団体への補助金のみを計上しております。また事務組合負担金につきましては、美幌・津別広域事務組合のうち、活汲の斎場運営に係る共通経費、事務経費につきまして負担金を計上しているところであり、目 2 予防費につきましては、前年対比 358 万 1,000 円の増ですが、予防接種経費の増が主な要因となっております。健康増進事業につきましては、健診等業務の委託料、健康づくり推進協議会経費を計上しているところです。また次の母子保健推進事業につ

きましても 219 ページになりますが、健診等業務の委託料のほか、妊産婦通院交通費助成事業などの扶助費を予算計上している事業となっております。栄養改善指導事業は、栄養士による指導事業を中心に関連経費を計上しております。

220 ページから 221 ページをお開きください。エキノコックス症対策経費につきましては健診委託料のみの計上です。予防接種経費は、予防接種に係る委託料を主なものとした予算計上です。222 ページから 223 ページをお開きください。各種予防事務経費につきましては、予防事務等に共通する経費を計上しております。また 223 ページ下段からの畜犬・蜂対策経費であります。225 ページになります。蜂駆除用の消耗品と委託料、また犬の予防接種の済票交付事務委託料の計上となっております。次、目 3 環境衛生費ですが、前年対比 345 万 3,000 円の減となっております。これは簡易水道事業特別会計繰出金の減が主な要因となっております。まず共同墓地管理経費は、各共同墓地の維持管理費となっております。し尿収集経費につきましては、227 ページになりますが、し尿収集委託料が主な予算となっております。次、し尿処理施設管理経費については、これは下水道処理施設に入れるための前処理施設に対する負担金の計上となっております。一般家庭飲用水水質検査事業につきましては、記載の補助金のみの計上、また水道未給水地区整備事業につきましても、同様に補助金のみの計上となっております。下水道事業特別会計繰出金につきましては、前年対比 53 万 5,000 円の減で計上しております。簡易水道事業特別会計繰出金につきましては、公営企業会計化したため、人件費や旧簡易水道事業施設の建設事業に係る経費等、繰り出し基準を定めまして繰り出しすることといたしましたが、前年対比 396 万 5,000 円の減として計上したものであります。

228 ページから 229 ページをお開きください。目 4 保健師設置費は、前年対比 773 万 5,000 円の減ですが、給与費の減によるものです。保健師活動経費につきましては、9 節旅費と 231 ページにあります図書等の購入費の 11 節需用費が主なものです。230 ページの目 5 公衆浴場費につきましては、おおむね昨年と同様な計上になります。公衆浴場管理経費といたしまして、公衆浴場の管理運営費を予算計上しているものです。

○議長（鹿中順一君） 暫時休憩をします。

休憩 午前 11 時 00 分

再開 午前 11 時 15 分

○議長（鹿中順一君） 休憩を閉じ再開します。

休憩前に引き続き説明を求めます。

住民企画課長、登壇の上説明願います。

○住民企画課長（伊藤泰広君）〔登壇〕 それでは、続きまして 232 ページから 233 ページ、項 2 清掃費、目 1 塵芥処理費につきましては、前年対比 2,843 万 5,000 円の増となっておりますが、これは新規に整備します一般廃棄物最終処分場施設整備事業に係る経費の増が主な要因です。廃棄物減量等推進審議会経費につきましては、235 ページにありますとおり、1 節報酬のみの計上です。次の一般廃棄物最終処分場施設整備事業につきましては、32 年度中の完成を目指しまして、現施設に隣接して一般廃棄物最終処分場を新設しようとするもので、環境影響調査、測量等を行いまして基本設計までを行う業務委託を計上したものであります。一般廃棄物最終処分場管理経費は、現施設の管理経費を計上しております。

236 ページから 237 ページをお開きください。次の塵芥収集経費は、収集業務の委託料のみの計上となっております。次、ごみ焼却施設管理経費は、239 ページになりますが、休止しているクリーンセンターに置きます燃えるごみの一時保管と鹿等の動物の容量を減らす減容を行う管理委託料と、また東藻琴におけます大空町の焼却施設における広域処理負担金を主に計上しているところであります。リサイクル施設管理経費は、共和のリサイクル施設における管理経費等を計上しておりますが、29 年度は 241 ページになりますが、18 節備品購入費でその他プラスチックの圧縮梱包機を更新することとして予算計上しております。下段の塵芥処理事務経費は、諸々の事務経費を見ておりますが、243 ページになりますが 18 節備品購入費について、ごみ不法投棄に対する監視カメラの購入を予定しております。生ごみ処理経費につきましては、堆肥化処理施設における生ごみ堆肥化にかかる委託料等を計上しております。次、ごみ有料化経費につきましては、ごみ処理券になります袋等の製作と販売手数料経費を計上しているところであります。

244 ページから 245 ページをお開きください。款 5 労働費になります。項 1 労働費、目 1 労働諸費につきましては、前年同様の予算計上です。労働対策経費としまして 19 節の負担金補助及交付金のみの計上となっております。

次に款 6 農林業費です。項 1 農業費、目 1 農業委員会費につきましては、前年並みの計上となっております。246 ページから 247 ページをお開きください。農業委員経費は、農業委員の報酬等のみの計上です。農業者年金事務経費、また次の農地保有合理化促進事業は、受託事業等の経費となっております。

248 ページから 249 ページをお開きください。農業委員会事務経費は、農業委員会の運営事務経費全般を予算計上しております。

250 ページから 251 ページをお開きください。農地中間管理事業につきましても、受託事業に伴う事務費の計上となっております。目 2 農業総務費は前年対比 480 万 2,000 円の減ですが、給与費の減が主な要因となっております。

252 ページから 253 ページをお開きください。土地利用調整審議会経費は委員報酬等のみの予算計上です。次、用水路等管理経費は、頭首工に係る経費で電気料のみの計上となっております。その他農業行政経費は、農業関係の一般的経費を予算計上しているものであります。

254 ページから 255 ページになります。目 3 農業振興費につきましては前年並みの予算計上となっております。農業経営基盤強化資金利子補給は、資金に対する利子補給を補助金として予算計上しているものであります。その他農業振興対策経費については 257 ページになりますが、産業まつりに対する補助金や TMR センターへの支援補助金等の予算を中心に計上しているところです。次の鳥獣被害防止総合対策事業については、有害鳥獣の駆除としまして、これは町単独分のみで補助するもので、ハト、カラスについて 500 羽、鹿 900 頭分として予算計上をしているところです。環境保全型農業直接支払交付金事業は、有機農業の取り組みに対しまして直接支払交付金を補助金として支出する補助事業について経費を計上しているところです。経営所得安定対策直接支払推進事業につきましては、259 ページになりますが津別町地域農業再生協議会に対しまして推進事業補助金として支出するほか、事務経費を含めた補助事業経費を計上しているところであります。青年就農給付金事業は、経営開始型といたしま

して同名称の補助金のトンネル事業となるところです。農業青年交流事業につきましては、地方創生事業によりまして船橋市の農業青年との交流を図ったことをさらに続ける事業といたしまして、新規に予算計上した事業となっております。目4振興事業費につきましては、前年対比1,606万5,000円の増となっておりますが、国営農地再編整備事業推進事業の増が主な要因となっております。土地改良事業事務経費につきましては、261ページになりますが、補助金としまして単独で補助する小規模土地改良事業を継続するほか、委託料で農地情報統合システム構築業務、備品購入費でシステム用ハードウェアでありますサーバー機を購入することといたしまして、農地情報の集約化と高度利用を図ろうとする予算計上としております。農村公園管理経費は、活汲農村公園の管理経費について計上しております。

262ページから263ページをお開きください。国営農地再編整備事業推進事業については、265ページになりますが、補助金といたしまして農業経営高度化支援事業5,400万円を予算化したことによりまして、換地事業の委託料の減額になるにもかかわらず全体として1,346万3,000円の増というふうになっております。また次の多面的機能支払交付金事業につきましては、農地保全に係る補助事業となっておりますが、267ページになります。交付金事業を基本に関係経費を計上したものであります。次の国営農地再編整備事業負担金支払基金積立金は、国営農地再編整備事業終了時における町の負担額について、基金として積み立てるものであります。目5畜産業費につきましては、前年対比161万4,000円の減ですが、昨年度は町営牧野用の備品購入費があったことによる減になります。268ページから269ページをお開きください。大家畜経営活性化資金利子補給、大家畜特別支援資金利子補給、畜産経営維持緊急支援資金利子補給のいずれも制度資金借りに係る利子補給を計上していますが、今後の支出内容は後で説明いたしますが、予算書の486ページから487ページの債務負担行為に係る調書を参考にさせていただければと思います。

269ページ最下段の畜産振興対策事業につきましては、これは車両を含めました畜産事業に係る一般的事務経費を計上しております。次、272ページから273ページをお開きください。項2林業費、目1林業総務費につきましては、前年対比698万5,000円の増となっておりますが、これは給与費の増が主な要因です。274ページから275ペー

ジをお開きください。山火事予防対策経費は山火事予防ポスター、標語募集関係経費が主になっております。その他林業総務事務経費は、衛生携帯の電話料とみどりの週間の広告料のみの計上となっております。目2 林業振興費につきましては、前年対比1,487万2,000円の増ですが、未来につなぐ森づくり推進事業と木材工芸館の整備事業の増によるものです。愛林のまち緑資源を守る推進事業は、丸玉産業森づくり基金を充当し、造林・保育事業に対し補助金を支出する予算を計上しております。未来につなぐ森づくり推進事業につきましては、道補助金を受けまして277ページになりますが補助金支出により伐採後の確実な植林等を支援するものであります。

続きまして林業振興対策補助費等につきましては、各林産業及び関係団体等に対し、補助金等を通じ支援する経費を計上しております。下段の木質ペレットストーブ導入支援事業につきましては、279ページになりますが、ストーブ購入費2台分の補助金を計上しているところであります。次の森林情報整備事業は、システムの保守委託料のみの計上となっております。愛林のまち森づくり緑化推進事業につきましては、過去に記念植樹したもの等の維持経費になります。次の林業振興事務経費につきましては、車両及び車庫経費を含みます林業関係一般事務経費を計上しております。

282ページから283ページをお開きください。すみません飛びます。工芸館等運営委員会経費は、委員の報酬等のみ計上です。木材工芸館整備事業につきましては、木材工芸館改修並びに周辺整備の基本設計及び実施設計を委託する経費となっております。実際の整備は30年度以降を予定しているところです。続きまして木材工芸館・体験工房管理経費につきましては、両施設の管理運営全般の経費について予算計上しております。

めくりまして286ページから287ページをお開きください。木工工作展経費につきましては、ウッドクラフト展といたしまして、その経費を計上しているものです。次の21世紀の森キャンプ場管理経費につきましては、例年、管理経費を計上しているところではありますが、29年度につきましては15節工事請負費といたしまして炊事場とトイレの外壁塗装工事を計上しているところです。21世紀の森管理経費につきましては、学習展示館を中心に施設管理経費を計上しているところです。

めくりまして290ページから291ページをお開きください。地域材利活用推進事業

につきましては、森林バイオマスエネルギー利用に関する事業等について、各種経費を計上させていただいております。292 ページから 293 ページをお開きください。また再生可能エネルギー推進事業につきましては、再生可能エネルギーを広く利用する構想を進める経費について計上しているところであります。

294 ページから 295 ページをお開きください。丸玉産業森づくり基金積立金については、丸玉産業様からの寄附金と現基金の利息分を積み立てる予算として計上しております。津別 21 世紀の森基金積立金は利息分を積み立てる予算計上です。目 3 林道費につきましては、前年対比 1,013 万 4,000 円の減ですが、昨年度は大きな林道工事を行ったことによりまして減となっております。林道維持管理経費は、文字通り維持管理の経費を計上しているところです。続きまして目 4 林業構造改善費につきましては、ほぼ昨年と同じ額の予算計上です。林業構造改善事業として整備いたしました自然運動公園と上里森林公園の施設管理についての経費を、自然運動公園管理経費、それから 297 ページの上里森林公園管理経費として予算計上をしているところです。296 ページの目 5 治山事業費ですが、工事等の大きな予算がないため、昨年度と同様な予算計上で、治山事業一般事務経費として治山事業事務経費として 299 ページになりますが、もう一つ基本的な管理経費であります治山施設維持管理経費、二つの事業で計上しているところであります。目 6 公有林費につきましては、前年対比 1,352 万 6,000 円の増となっておりますが、間伐事業の増が要因となっております。事業は町有林整備事業の 1 事業のみの計上です。町有林の維持管理を基本に予算計上しております。施業計画に基づきまして事業を実施しておりますが、29 年度は特に間伐事業に係る委託が多くなっているところです。

302 ページから 303 ページをお開きください。款 7 商工費になります。項 1 商工費、目 1 商工総務費につきましては、前年対比 422 万 8,000 円の増となりますが、これは給与費の増が要因となっております。304 ページから 305 ページをお開きください。下のほうです。商工総務事務経費につきましては、一般事務経費を計上しております。また 307 ページになりますが、次の太陽光発電システム導入支援事業は、これは 3 基分としまして補助金を計上しているところです。目 2 商工振興費につきましては、前年対比 1,302 万 1,000 円の減ですが、起業等振興促進補助金などの補助金が減となっ

たことが要因となっております。地域振興センター管理経費につきましては、これは商工会が入っております地域振興センターの管理経費を計上しております。次、商工振興補助費等は、309 ページになりますが商工会運営費、制度拡充いたしました起業等振興促進補助金、中小企業特別融利子補給の補助金を主として予算計上しているところであります。次のレストハウス管理経費は、町が経費を負担する施設管理経費を計上しております。次の小規模企業安定資金貸付金につきましては、21 節の貸付金のみの計上となっております。目 3 観光費につきましては、前年対比 1,553 万 1,000 円の増ですが、チミケップキャンプ場の工事請負費の増によるものであります。河岸公園管理経費は 311 ページまでに渡りますが、公園管理の委託料等、一般的な管理経費を計上しているところです。次の峠展望施設管理経費につきましても、313 ページになりますが、管理委託料や発電施設の管理経費を含め計上しております。313 ページの最下段、15 節工事請負費におきまして、屋上の防水機能が失われてきたということから、29 年度に改修工事を予定しております。314 ページから 315 ページをお開きください。チミケップキャンプ場管理経費につきましても、管理委託料など、トイレ及び炊事場等の管理経費を計上しておりますが、317 ページ、15 節工事請負費におきまして、浄化槽の更新を予定しております。既設の浄化槽では対応人数的に問題があることが分かりまして、環境へ負荷がかかる危険性を回避する意味からも更新工事を行うこととしたところです。予算に関する資料 145 ページのほうに場所等を記載しておりますので、参考にしてください。次の観光イベント補助費等につきましては、さんさん館、5 差路を中心に行っていますイルミネーション事業への負担金、また観光協会への運営費補助、さらに観光協会で行っている夏まつり、盆踊り、クリン草まつりへの事業費補助を計上しているところであります。次の観光事業事務経費につきましては、まる太くんの着ぐるみに係る経費のほか、観光行政に関する経費を計上しているところです。318 ページから 319 ページをお開きください。目 4 消費者行政推進費ですが、消費者問題への対応といたしまして、美幌町に設置しております相談窓口への委託料のみの計上となっております。

款 8 土木費です。項 1 土木管理費、目 1 土木総務費につきましては、前年対比 861 万 1,000 円の増ですが、これは給与費の増が主な要因となっております。320 ページか

ら 321 ページをお開きください。道路台帳整備事業になりますが、これは普通交付税算定の基礎ともなりますが、道路台帳の補正業務委託料のみの計上となっております。次の土木総務事務経費は、土木関係の一般事務行政経費についての計上になります。322 ページから 323 ページをお開きください。項 2 道路橋梁費、目 1 道路橋梁総務費は、前年対比 3,063 万 3,000 円の減ですが、本年から町道等の維持管理業務が民間委託することとなるため、直接経費である機械等の維持管理費が減となっております。ただ目 2 道路橋梁維持費で委託料が増となっているところでもあります。324 ページから 325 ページをお開きください。雪寒建設機械導入事業ですが、29 年度は補助事業といたしましてロータリー装置を付けて除雪ドーザを更新するものです。次の建設機械管理経費につきましては、各種機械の維持管理経費となりますが、委託先との経費区分を確認しながら予算計上を行っているところでもあります。327 ページになりますが、18 節の備品購入費で小型歩道除雪機 1 台を更新する予定としているところです。次の除雪センター管理経費につきましても、これは委託先が基本的に使用することになりますが、一部の消耗品類は委託先の費用負担となるものです。329 ページになりますが、次の道路除排雪経費は、昨年度までも委託していた路線分の、昨年というか平成 28 年まで委託していた路線分の除排雪業務委託料のみの計上となっているところです。目 2 道路橋梁維持費につきましては、前年対比 8,764 万 9,000 円の増となっておりますが、これは町道等維持管理費の民間委託料の増によるものです。道路橋梁維持整備事業につきましても、設計委託料ほか 329 ページから 331 ページ記載の各道路維持工事費の計上となっております。また 330 ページから 331 ページをお開きください。次の道路橋梁維持管理経費ですが、最下段のほうになりますが、町道等維持管理業務委託料を計上させていただいております。29 年度からは民間委託をするものであります。そのほか道路等をはじめとしまして道路維持に関する一般経費を予算計上しておりますが、333 ページをお開きください。15 節工事請負費といたしまして、街路灯改修工事を新設 1 基と LED 化しました街路灯の支柱を塗装工事する、これ 179 本分を計上しているところです。また 18 節の備品購入費で、これは連絡車両用としての小型貨物自動車の購入を予定しているところです。次の道路維持作業車管理経費ですが、通称「道路維持車」と呼ばれております車両の維持管理費の経費を計上しているところです。334

ページから 335 ページをお開きください。道路ストック総点検事業につきましては、補助事業といたしまして、記載の町道の舗装補修工事を行うものです。次の橋梁長寿命化修繕事業におきましても、補助事業を受けまして橋梁点検等の委託及び長寿命化の補修工事を行う費用を予算化しているところです。目3道路橋梁新設改良費につきましては前年対比 3,311 万 9,000 円の増となっておりますが、15 節の工事請負費の増となっております。市街地の町道につきましては計画的に改良を行っておりますが、補助事業の対象となる長大路線はなく、いずれも町単独事業となっていることをご了解願いたいと思います。337 ページの 15 節の工事請負費に路線名を記載しております。その他工事に係る補償費や、今後の整備対象路線の調査業務委託料等を合わせ計上しているところです。なお、予算に関する資料 146 ページと 147 ページに町道関係の工事等路線の位置図が記載されておりますので、参考にさせていただければと思います。続きまして 338 ページから 339 ページをお開きください。項3河川費、目1河川総務費ですが、前年並みの予算計上としております。町が維持する河川に係る維持管理経費で、29 年度については、直接対応するための使用料を若干増として計上させてもらっております。項4住宅費、目1住宅管理費ですが、前年対比 1,233 万円の増となっております。町営住宅管理経費で解体工事の予定をしていることによる増となっております。340 ページから 341 ページをお開きください。町営住宅入居者選考委員会経費は、委員報酬のみの計上であります。町営住宅管理経費は、管理している町営住宅すべての維持管理経費となりますが、345 ページをお開きください。15 工事請負費です。こちらで高栄団地の一部、3 棟 12 戸を補助を受けながら解体する工事を計上しております。場所については、予算に関する資料 148 ページのほうに載っておりますので参考にしてください。次の空家等対策協議会経費につきましては、先に設置条例を議決いただきましたが、委員の報酬等と関係者の旅費を計上しているところであります。目2住宅建設費につきましては、前年対比 4 億 8,358 万 7,000 円の減となっておりますが、これは西町団地等の建設事業の減によるものです。営繕行政推進事業につきましては、これは住宅新設等に関する行政事務経費を計上しているものであります。346 ページから 347 ページをお開きください。次の町営住宅等建設整備事業ですが、市街地の事業が一段落したということで、本年は、29 年度は相生団地としまして 2 棟 2 戸を

建設する計画となっております。また、合わせまして次の年に向けまして本岐団地の調査・実施設計委託料を計上しているところであります。

次に 348 ページから 349 ページをお開きください。款 9 消防費となります。項 1 消防費、目 1 消防総務費は前年対比 3,234 万 9,000 円の減となっておりますが、昨年は、活汲、第 2 分団詰所の工事に対する負担金等があったことによるものです。この目は事務組合負担金のみの計上で、美幌・津別広域事務組合の津別消防分の全額と、消防関係の共通経費を決まった割合で負担する負担金を計上しております。目 2 災害対策費につきましては、ほぼ前年並みの予算計上となっております。防災会議経費につきましては、防災会議の委員のうち報酬対象となる者の報酬等を計上しているものであります。防災対策経費につきましては、通常の防災対策行政経費を計上しているもので、防災無線や防災対策として購入した車両の維持経費を含めて計上しているところであります。

めくりまして 352 ページから 353 ページをお開きください。款 10 教育費です。項 1 教育総務費、目 1 教育委員会費は、前年並みの予算計上です。教育委員会経費は、教育委員の報酬等のみの計上となっております。教育委員会事務経費は、教育長交際費を含めまして教育委員会としての一般的事務経費を計上しているところです。354 ページから 355 ページをお開きください。目 2 事務局費ですが前年対比 268 万 5,000 円の増です。これは津別高校振興対策事業の増が主な要因となっております。356 ページから 357 ページをお開きください。奨学審査委員会経費につきましては、奨学金の対象者を決定する委員会で委員の報酬等のみの計上となっております。教委事務局経費につきましては、事務局としての一般的な事務経費を計上しております。次に 358 ページから 359 ページをお開きください。津別高校振興対策事業ですが、新年度につきましては、振興対策協議会への交付金に含めておりました制服購入補助について、別途補助金として計上したほか、新規に 13 節委託料といたしまして公営塾運営業務を計上しております。これは、長期休業の間に議会議事堂を利用させていただきまして、公費により塾を運営してもらおうとするものでありまして、基本的に津別高校生の振興対策としておりますが、町民の他町へ通われる高校生も含めて対象としようとするものであります。また進学のための塾だけではなくて、就職対策等も対応してもらえ

るように委託予定の業者と協議しているところであります。次に学校教育施設整備基金積立金については、利息分のみの積み立てです。360 ページから 361 ページをお開きください。目 3 義務教育振興費は、前年並みの予算計上です。教育支援委員会経費は、委員の報酬等のみの計上となっております。次の学校評議員経費は、評議員の費用弁償と 2 校分の支援者補償制度の保険料の計上となっております。義務教育振興事業経費は、363 ページのほうの記載になりますが、中体連・学校事業、教職員研修等への負担金を主に計上しているところです。目 4 語学指導助手招致事業費につきましては、英語の語学指導助手 A L T にアシスタント ランゲージ ティーチャーに係る経費で、29 年度は 365 ページになりますが、18 節の備品購入費で活動用の乗用車 1 台を購入する予定であります。次 366 ページから 367 ページをお開きください。目 5 スクールバス運行費につきましては、前年対比 565 万 1,000 円の減ですが、昨年はバスを購入したことによりまして、今年は減になったところです。スクールバス経費といたしまして、369 ページに記載しておりますが、5 路線の運行業務委託料を含めまして、自主運行の相生線とともに 6 路線に係る運行経費を計上させていただいております。続きまして項 2 小学校費、目 1 学校管理費につきましては、前年対比 70 万 1,000 円の増ですが、小学校施設整備事業が増の要因です。370 ページから 371 ページをお開きください。小学校施設整備事業につきましては、これはアスベストを含む断熱材を使用している小学校の煙突について、現状では剥離や飛散は見られないものの、改修工事を行いまして万全を図るというものであります。次の小学校施設管理経費につきましては、小学校施設の管理経費全般を計上しているものとなっております。飛びまして 376 ページから 377 ページをお開きください。教務用消耗品・備品等整備経費につきましては、教務用消耗品等全般の事務経費となるところであります。目 2 教育振興費は前年対比 95 万円の増ですが、備品購入費の増が主な要因となっております。教材・備品等購入経費につきましては、指定教材に係る消耗品や備品と、29 年度につきましては 379 ページになりますが、情報教材といたしましてタブレット (iPad) 7 台、55 型のテレビ 6 台、それから書画カメラを 7 台を購入する予定であります。次の就学援助費ですが、これは経済的理由により就学が困難と思われる児童に対しまして援助する制度でありまして、記載の内容について 20 節扶助費として支援するものであります。その他小

学校教育振興経費につきましては、381 ページになりますが、内容としては学習支援員 5 名の経費のほか、木育授業経費等、広く教育振興に係る経費として計上させてもらっております。めぐりまして 382 ページから 383 ページをお開きください。項 3 中学校費ですが、各目の設定は項 2 小学校費と同様となっております。目 1 学校管理費は前年対比 171 万 7,000 円の減ですが、教務用消耗品の減が主な要因となっております。中学校施設管理費につきましては、臨時用務員を含みます中学校管理経費全般を計上しております。飛びまして 388 ページから 389 ページをお開きください。教務用消耗品・備品等整備経費につきましては、小学校費と同じように教務用消耗品等全般の事務経費となるところであります。目 2 教育振興費は前年対比 159 万 6,000 円の減ですが、就学援助費の減が主な要因となっております。教材・備品等購入費につきましては、指定教材に係る消耗品や備品の購入費用を計上しております。次に、391 ページの就学援助費ですが、これも小学校と同様に経済的援助をする制度で、記載の内容に対して 20 節扶助費として支援するものであります。その他中学校教育振興経費につきましては、めぐりまして 393 ページになりますが、臨時教職員 1 名、学習支援員 1 名の経費のほか、木育授業経費等、広く教育振興にかかる経費を計上させていただいております。次、394 ページから 395 ページをお開きください。項 4 社会教育費になります。目 1 社会教育総務費は前年対比 1,423 万 2,000 円の増ですが、給与費の増が主な要因となっております。396 ページから 397 ページをお開きください。社会教育委員経費、次の少年補導委員経費につきましては、委員の報酬等のみの計上になります。次の文化賞・スポーツ賞経費につきましては、教育委員会として表彰する経費となります。それから成人式経費は、1 月に行います成人式の経費全般を計上しております。次、398 ページから 399 ページをお開きください。社会教育総務経費につきましては、これは社会教育全般に係る事務行政経費を計上しております。次、400 ページから 401 ページをお開きください。目 2 社会教育振興費につきましては前年同様な予算となっております。幼少年期から高齢者までの各対象に対しての事業に係る経費について予算計上しております。少年期振興経費につきましては、アソビバつべつの経費のほか、401 ページの下段になりますが船橋市と南アルプス市との交流事業、交互に派遣することとしており、今年は受け入れの年となります。403 ページになります、青年期振興経費

につきましては青年活動プロジェクト負担金としまして、a n dの事業支援の経費を計上しております。次の成人期振興経費は基本的に寿大学の経費となっております。家庭教育振興経費につきましては、29年度は特に産後ケアをはじめといたします子育て支援を基本としまして事業を予定しているところであります。なお405ページの補助金、成人活動費は連合PTAに対するものです。次の芸術文化振興経費は12節役務費、手数料の社会教育推進事業で幼児から中学生までの各種芸術鑑賞事業の経費として計上しております、また日本フィルセミナーとリコーダーセミナーを中心といたしました町民芸術劇場への負担金・補助金等の予算計上となっておりますが、リコーダーセミナーは10周年記念事業としての予算を計上しているところであります。なお、補助金の文化振興活動費は文化協会、また郷土芸能活動費は山鳴太鼓保存会への支援としての計上となっております。次の図書室経費は、407ページからの計上になりますが、臨時職員を含みます中央公民館図書室の管理運営経費全般を計上させていただいております。408ページから409ページをお開きください。教育相談員経費は、臨時職員賃金のみの計上となっております。児童館運営事務経費につきましては、専任職員、指導員経費のほか、運営経費を計上させていただいております。410ページから411ページをお開きください。社会教育事業経費は、社会教育講座の開催費用と社明運動の活動費負担金の予算計上となっております。放課後児童クラブ経費につきましては、児童館で行っている事業で、専任職員2名の経費のほか、登録用消耗品を計上しております。放課後子ども教室経費につきましても児童館での事業でありまして、専任職員1名の経費とイベント等の経費を計上しております。すみません、413ページのほうにもなっておりますので、よろしく申し上げます。412ページの目3会館管理費につきましては、前年対比1,377万1,000円の増ですが、生活改善センターの工事費の増が要因となっております。公民館管理経費につきましては、中央公民館全体の維持管理経費になっております。特記事項としましては29年度は、417ページから419ページにかけて記載しております、18節の備品購入費でプロジェクター等の購入経費を計上しているところであります。418ページから419ページをお開きください。生活改善センター施設整備事業であります、これはセンターの外構整備工事を計上しておりますが、予算に関する資料149ページに整備場所等を掲載しておりますので、参考にし

てください。また正面玄関につきましても、滑り止め等を行う工事を予定しているところでもあります。次の生活改善センター管理経費につきましては、通称、町民会館の施設管理の委託料を含めまして、維持管理経費全般を計上しております。422 ページから 423 ページをお開きください。食品加工センター管理経費ですが、こちらも施設管理委託料を含め維持管理費用全般を計上しているところです。まためぐりまして 424 ページ 425 ページをお開きください。児童館管理経費ですが、これは運営経費を除きました管理経費全般の計上となっております。426 ページから 427 ページをお開きください。項 5 保健体育費、目 1 保健体育総務費につきましては前年対比 290 万 1,000 円の減ですが、去年は紅葉マラソンが記念大会ということで予算を多く計上していましたから、今年は減となります。まずスポーツ推進委員経費につきましては、委員の報酬等と関係団体負担金のみの計上となっております。スポーツ教室経費につきましては、スケート教室と水泳教室、水中エアロビ教室等の経費を計上しているところです。一番下段のつべつ紅葉マラソン経費は 429 ページのほうになりますが、大会経費を一括して実行委員会負担金として予算計上をしております。スポーツ合宿誘致事業につきましても、実行委員会に一括して交付金による予算計上をしております。社会体育事業経費につきましては、各種体育事業、イベント等の経費を計上しておりますが、29 年度は、12 節役務費について 431 ページになりますが、派遣手数料として、これは子どものための体力向上プログラム、さきの教育行政方針でもお話しありましたが、コーディネーショントレーニング講習会を行う経費として計上しているところでもあります。次の社会体育事務経費につきましては、その他体育事業関係の経費ではありますが、補助金のスポーツ振興費は体育協会への支援として計上しております。続きまして 432 ページから 433 ページをお開きください。目 2 体育施設費は対前年対比 1,636 万 1,000 円の増ですが、去年はテニスコートの整備を行いました。29 年度はトレーニングセンターの整備事業で大きな事業増となることによるものです。各事業は施設ごとの管理委託料を含めた管理経費を計上しておりますので、29 年度の特筆する点のみを説明したいと思います。まず多目的運動公園管理経費については、435 ページになりますが、18 備品購入費で、ジュニア用サッカーゴールを購入する予定であります。飛びまして 439 ページ、町民テニスコート管理経費ですが、15 工事請負費に記載のテニスコート

の外構整備工事を予定しております。各施設の管理経費が続きますので、飛びまして 446 ページ、447 ページをお開きください。447 ページの中段にあります修武館整備事業ですが、現在、砂利敷きの駐車場につきまして舗装工事を行うものであります。なお、次の修武館管理経費におきまして、449 ページになりますが、13 節委託料でワックス掛け業務となっておりますが、修武館の床研磨とポリウレタン樹脂加工を新たに行うものであります。450 ページから 451 ページをお開きください。体育施設共通管理経費につきまして、管理用車両や圧雪車等の経費を中心に共通で処理できる経費について計上しているところです。次に 454 ページから 455 ページをお開きください。455 ページの下段になりますが、トレーニングセンター施設整備事業につきまして、現在 2 階にありますトレーニング室が手狭でありまして、機器も少ないことなどから、新たに増築して機器も購入しようとするものです。増築部分の図面は予算に関する資料 150 ページを参考にしてください。なお、機器の購入に関しては、457 ページからのトレーニングセンター管理経費になります。記載は 459 ページのほうになります。18 節備品購入費でベンチプレス他トレーニング機器として計上しているところであります。458 ページの目 3 学校保健費は、ほぼ前年並みの予算計上となっております。学校医等経費は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等に係る経費の計上となっております。460 ページから 461 ページになりますが、児童・生徒健診等経費は、各種健診に係る報償等の経費の計上です。続きまして 462 ページから 463 ページをお開きください。教職員健診経費は、同様に先生方の健診経費の計上となっております。次の学校保健用消耗品・備品等経費につきましては、小中学校の主に保健室に置かれる消耗品等の経費などを計上しているところです。464 ページから 465 ページをお開きください。目 4 学校給食費につきましては、施設整備事業が増となっておりますが、運営経費が減となっておりますので、おおむね昨年並みの予算計上となっております。給食センター運営委員会経費は委員の報酬等のみの計上です。給食センター施設整備事業は、小学校と同様にアスベストを含む断熱材を使用している煙突につきまして、剥離や飛散は見られないものの、改修工事を行い万全を図るものであります。給食センター施設管理経費は、施設自体の管理経費を計上しております。466 ページから 467 ページをお開きください。下のほうの給食配送経費は、配送用の車両の管理経費と 469 ページになりますが、配

送車車両の13節委託料の経費を計上しております。次の学校給食食材経費は食材の経費ではありますが、財源の一般財源分は、オーガニック牛乳を提供する町費負担分の金額として計上しているところです。給食センター運営経費は、調理員を含めましてセンター運営全般にかかる費用を計上しているところです。

次は474ページから475ページをお開きください。款11災害復旧費、項1公共土木施設災害復旧費、目1道路橋梁災害復旧費につきましては、突発的な災害に対し、即時対応できる予算のみ計上しており、昨年と同額となります。目2河川災害復旧費につきましては28年度の災害復旧がありますので、増となっております。現年災害復旧事業補助は目1と同様に、昨年と同額で計上しているものです。過年災害復旧事業単独につきましては、平成28年8月に受けた台風災害に係る事業で、用地測量委託料と工事請負費を計上するものです。工事箇所につきましては、予算に関する資料151ページを参照ください。

次に、476ページをお開きください。款12公債費、項1公債費につきましては、過去に借りました起債の償還経費等を計上しておりまして、前年度対比311万2,000円の減となっております。目1元金につきましては332万4,000円の増、目2利子については、643万6,000円の減として予算計上いたしました。なお、利子につきましては479ページになりますが、一時借入金利子を計上しております、一時的な資金不足の際に借入する資金の利息となっております。

478ページの款13予備費につきましては、前年度同額500万円を計上しております。予備費は、予算流用ができない人件費等を含めまして、すべての経費に充当、これは充用と言いますが、それらができる予算となるところであります。

以上、歳出の説明といたしますが。そのまま、次のページをお開きください。

480ページからは法定附属資料となります。先に説明しましたが480ページから485ページまでは人件費の内容で、常勤特別職と一般職の内容となっております。486ページ、487ページは債務負担行為の調書でありまして、29年度以降の支出予定額は1億3,436万9,000円、うち一般財源は1億3,070万5,000円となっているところであります。27年度に整備いたしました道路灯、街路灯のLED化に係る賃借料の分が大きな額となって占めております。続きまして488ページは、地方債の現在高に係る調書と

なりますが、29年度では元金支払いにより新規起債額が3億3,000万ほど多く見込んでおまして、年度末の残高が若干増えると考えているところです。

○議長（鹿中順一君） 昼食休憩とします。

休憩 午後 0時 7分

再開 午後 1時 10分

○議長（鹿中順一君） 昼食休憩を閉じ再開します。

休憩前に引き続き、一般会計予算について説明を求めます。

住民企画課長、登壇の上説明願います。

○住民企画課長（伊藤泰広君）〔登壇〕 それでは、引き続きまして歳入の説明を申し上げます。10ページのほうにお戻りください。

歳入につきましては、基本的に前年対比の内容について説明することといたしまして、増減の少ない事項につきましては省略させていただきますことをご了承ください。

まず款1町税です。各税目の税率につきましては予算に関する資料23ページ及び24ページに記載しておりますので参照ください。

項1町民税につきましては、個人・法人とも若干増の見込みとしております。項2固定資産税につきましては、目1固定資産税で28年度の実績と過疎減免が切れるものがありますから、こちら若干ですが増として見込んだところであります。目2国有資産等所在市町村交付金につきましては、実績から53万4,000円の増と見込みまして、予算計上しております。次に12ページ、13ページをお開きください。項3軽自動車税につきましては、4輪の軽自動車が増加傾向にありますから、前年対比で増と見込んでおります。次に、項4町たばこ税につきましては、平成28年度において、こちらは減少傾向にあることから、その実績から勘案し前年対比171万3,000円、かなり大きな減ですが減として予算計上したところであります。次に、項5入湯税につきましては、前年度対比8万円の微増としております、すべて森の健康館に係る分で、宿泊者が増傾向にあります。日帰り入浴がそれに比べてちょっと伸びていないということで、ほぼ前年並みと見込んだところであります。

次に、款2 地方譲与税についてです。それぞれ、総務省からの留意事項と28年度決算予定額を勘案しながら計上したもので、款全体では前年対比160万円の増と見込んだところであります。

次に、款3 利子割交付金につきましては、経済状況を見越しまして28年度決算の見込みなどを勘案しながら、50万円ほどの減と見込んだところであります。

次に、14ページをお開きください。款4 配当割交付金、款5 株式等譲渡所得割交付金につきましては、大きな動きは見えないことから前年度同額の予算計上をしております。

次に、款6 地方消費税交付金につきましては、28年度の決算見込み額が減傾向とあることから、前年対比481万9,000円の減として予算計上いたしました。そのうち3,740万円を地方消費税の増税分と見越しまして、その部分を社会保障財源分として、歳出において社会保障事業基金に積むこととしております。

次に、款7 自動車取得税交付金につきましては、こちらも総務省からの留意事項と28年度の決算見込みを勘案しまして前年対比99万3,000円の増として予算計上しております。

次に、款8 地方特例交付金につきましては、前年度と同様に住宅借入金等税額控除に係る個人住民税の減収に係る分なのですが、前年同額の70万円と計上したところです。

16ページをお開きください。款9 地方交付税につきましては、前年対比3,000万円減として予算計上いたしました。特別交付税は前年度同額といたしまして、すべて普通交付税の減分となっております。交付税算定の基礎となります地方財政計画におきましては全体で2.2%の減とされているところですが、基本的に28年度の実績を大きく下回ることはないものと予想いたしまして、交付税全体で1.2%の減少率として予算計上させていただいたところです。

款10 交通安全対策特別交付金につきましては、28年度の実績額を勘案して、若干ながら増、前年対比6万5,000円増で予算計上したところです。

次に、款11 分担金及負担金、項1 分担金、目1 農林業費分担金につきましては、国

営農地再編整備事業に係る農業経営高度化支援事業といたしまして、これは休耕地に対する保障を国と受益者全体が保障することとしまして、補償額の45%相当額を分担金と徴収することになります。事業は本格的に展開しまして、対象面積が増となっていることから前年対比1,960万2,000円増として予算計上したところです。

次に、項2負担金、目1民生費負担金につきましては、老人福祉施設入所者徴収金は、これは養護老人ホーム入所者本人徴収分といたしまして5人を見込み2,432万円、緊急通報システム設置事業利用者負担金として10名分、11万円を予算計上したことによりまして前年対比75万1,000円の減となるところです。

次に、目2衛生費負担金につきましては、これは大空町からの負担になるのですが前年対比50トン減の300トン分の生ごみ処理負担金と堆肥ふるい委託分といたしまして前年対比92万9,000円の減として予算計上したところです。

次に、款12使用料及手数料です。各使用料・手数料の額等については、予算に関する資料26ページから48ページとなりますので、そちらを参照ください。項1使用料につきましては、全体で前年対比744万1,000円の増となっております。主な要因といたしましては、18ページのほうになりますが目4農林業使用料における節1畜産使用料において牧野使用料を79万3,000円の増として予算計上、また目5の土木使用料の節2住宅使用料におきまして、28年度新築分の町営住宅等使用料を見込み、土木使用料全体で前年対比738万4,000円の増として計上したことによります。

次に、20ページをお開きください。項2手数料ですが、ほぼ前年並みで、前年対比7万8,000円の減額としているところであります。

次に、22ページをお開きください。款13国庫支出金についてです、前年対比9,028万5,000円の減額となっております。

項1国庫負担金、目1民生費国庫負担金につきましては、前年対比1,952万9,000円の増となっておりますが、この主な要因は、介護給付費・訓練等給付費と障害児入所給付費の増によるものであります。12事業につきまして、それぞれの事業に対する負担率に基づきまして、合わせて1億6,080万7,000円を予算計上したところであります。

次に、24ページをお開きください。項2国庫補助金につきましては前年対比1億505

万 3,000 円の減額となっております。目 1 総務費国庫補助金につきましては、前年対比 5,273 万 6,000 円の増となっておりますが、これは地方創生推進交付金につきまして当初予算から計上したことによるものです。目 2 民生費国庫補助金につきましては、対前年比 62 万 4,000 円の増となっておりますが、社会保障・税番号システム整備費補助金がすべて減となっておりますが、施設型給付費、また子ども・子育て支援交付金が増となっていることで全体増というふうになっております。また目 3 衛生費国庫補助金につきましては、予算額 1,297 万円は、一般廃棄物最終処分場施設整備事業といたしまして新しく増えたというか皆増という形になります。目 4 土木費国庫補助金は、前年対比 1 億 7,342 万 7,000 円の減額ですが、28 年度事業であります西町団地等の社会資本整備総合交付金が減となったことによるものです。次の目 5 教育費国庫補助金につきましては、対前年比 204 万 4,000 円の増となっておりますが、放課後子どもプラン推進事業におきまして、全額道補助から一部国庫補助に収入科目が変更になったこと、これは平成 28 年度途中の補正予算で組み替えさせてもらっているのですが、それが要因となっております。

項 3 国庫委託金については、前年対比 476 万 1,000 円の減ですが、目 1 総務費国庫委託金における、これは参議院議員選挙費の分の減が主な要因となっております。

26 ページをお開きください。款 14 道支出金につきましては、前年対比 3,692 万 9,000 円の増額となっております。項 1 道負担金、目 1 民生費道負担金につきましては、国庫負担金と同様に、介護給付費・訓練等給付費及び障害児入所給付費が増となりまして、それぞれの事業に対する負担率に基づき、961 万 6,000 円の増として予算計上をしているところです。項 2 道補助金、目 1 総務費道補助金につきましては、昨年当初に地域づくり交付金 480 万円を計上していますが、本年、該当事業がありませんので、その分減額して予算計上しております。また、電源立地地域対策交付金につきましては、本年度は美幌・津別広域事務組合に対する負担金の財源に充てております。内容としては、津別消防署の広報車の更新費用に充てるものであります。続きまして 28 ページをお開きください。次に、目 2 民生費道補助金につきましては、前年対比 143 万 6,000 円の減となっておりますが、この要因は、乳幼児等医療費助成事業の減が主な理由となっております。目 3 衛生費道補助金につきましては、妊産婦通院交通費助成事業

を昨年は年度途中の補正予算対応でありましたが、今年は当初予算から計上したため、その分が増の要因となっております。目4 農林業費道補助金につきましては、前年対比 3,385 万 4,000 円の増となっておりますが、節1 農業費道補助金で、前年対比 2,261 万 7,000 円の増額となっております。歳出で事業量が増とっているとお話ししました国営農地再編整備事業推進事業の財源であります農業経営高度化支援事業が前年対比 2,395 万 8,000 円の増となっているのが要因となっております。次、30 ページをお開きください。節3 の林業費道補助金につきましては、前年対比 1,125 万 3,000 円ほどの増となっております。これは未来につなぐ森づくり推進事業、森林環境保全事業ともに事業量の増に伴う補助金の増が要因となっております。目5 教育費道補助金につきましては、前年対比 124 万 5,000 円の減ですが、これは放課後子どもプラン推進事業の一部国庫補助として分割計上されていることが主な要因となっております。項3 道委託金につきましては、前年対比 65 万 3,000 円の増ですが、目1 総務費道委託金において、本年津別町で実施される地域人権啓発活動活性化事業、歳出のほうでも申しましたが、その増によることが要因となっております。

次 32 ページをお開きください。款 15 財産収入です。全体で前年対比 617 万 3,000 円の増となっておりますが、これは生産品売払収入の町有林の素材売払収入の増が主な要因となっております。項1 財産運用収入につきましては、目1 財産貸付収入におきまして、前年対比 24 万 8,000 円の増となっておりますが、建物等貸付料において増となっております。貸し付けの状況は、予算に関する資料 46 ページから 54 ページに町有住宅等の所有状況及び土地等の貸付状況を記載しておりますので、ご参考にしてください。目2 利子及び配当金につきましては、利率を勘案しまして各基金の利息を収入として予算計上しましたが、低金利の状況を見越しまして、前年対比 146 万 9,000 円の減を見込みました。34 ページをお開きください。目3 特許権等運用収入は、これは北海道電子自治体共同運営協議会からの配分によるものです。項2 財産売払収入、目1 生産品売払収入につきましては、町有林の素材売払収入を前年対比 758 万 9,000 円の増で計上しております。目2 動産売払収入はオフセットクレジットの売払収入で前年度対比 19 万 5,000 円の微減ですが減で予算計上いたしております。

款 16 寄附金につきましては、目2 総務費寄附金におきまして、ふるさと納税分を昨

年当初 4,000 万円と計上しておりましたが、今年は 1 億 2,000 万円を見込ませてもらったため、款全体で 8,000 万円の増となるところです。目 3 農林業費寄附金は、これは丸玉産業様からの寄附金として見込んでいるところでもあります。

次に、款 17 繰入金、項 1 基金繰入金につきましては、前年対比 2 億 715 万 7,000 円の増となっています。一般財源の不足分としての財政調整基金繰入金は前年対比 1 億 4,454 万円の増となっております。36 ページのほうにもなりますが、ふるさと納税を原資といたしました、ふるさと応援基金からは 1,841 万 7,000 円、前年対比 1,786 万 7,000 円増で各事業の財源とさせてもらっております。その他の基金充当先事業等の詳細につきましては、先に説明いたしました但予算に関する資料 59 ページのとおりとなっておりますのでご参照ください。

次の款 18 繰越金については、1,000 円の科目設定としております。

款 19 諸収入につきましては、前年対比 4,813 万 5,000 円の減となっておりますが、項 4 の受託事業収入におけます国営農地再編換地推進業務と項 5 雑入におきまして地域振興事業助成金のこれはすべての減になったことが主な要因になっています。項 2 町預金利子、目 1 町預金利子は歳計現金等の普通預金利子ですが、ほとんど利息がつかないような状況から 12 万 4,000 円の減で見込んでおります。最下段の項 4 受託事業収入は 38 ページから 39 ページをお開きください。目 2 農林業費受託事業収入は前年対比 3,351 万 6,000 円の減ですが、これは国営農地再編換地推進業務が前年対比 3,378 万 9,000 円の減となることが主な要因となっております。項 5 雑入は前年度対比 1,449 万 5,000 円の減額となります。目 6 雑入については前年対比 271 万 7,000 円の減ですが、障害者福祉サービス等利用計画作成料収入の減が大きなものです。また、42 ページに記載しておりますが、昨年、当初予算で見込んでおりました地域振興事業助成金が、本年は事業の見込みがありませんので 1,142 万 1,000 円の皆減となっているところでもあります。

続きまして 42 ページの款 20 町債、項 1 町債につきましては、前年対比 1 億 9,720 万円の減となっておりますが、町営住宅整備事業に係る目 5 土木債の減が主な要因となっております。まず、目 1 総務債の臨時財政対策債は、これは財源不足額を基礎としての算定となりますが、前年度対比 1,000 万円増の予算で予算計上いたしました。

また、多目的活動センター駐車場整備事業は過疎債のハード分対応として 940 万円を計上しております。目 2 衛生債につきましては、前年度対比 680 万円の減となっておりますが、これは過疎債ソフト分といたしまして津別病院に対する地域医療維持助成事業分について現在のソフト事業の上限と思料される 7,920 万円、前年対比 1,900 万円減で見込んでおります。過疎債ハード分としては、その他プラスチック圧縮梱包機購入事業に 1,920 万円を予算計上いたしました。目 3 農林業債は、過疎債ハード分で、これは木材工芸館改修事業実施設計分を 590 万円を予算に計上しております。目 4 商工債は、過疎債のハード分でチミケップキャンプ場浄化槽の設置等事業について 1,740 万円を計上しております。目 5 土木債については、節 1 道路橋梁債は、雪寒建設機械の導入事業で 1,650 万円、橋梁長寿命化修繕事業の補助残として 2,380 万円、町道 141 号線改良舗装事業 2,390 万円、これらすべて過疎債のハード分として計上しております。節 2 住宅債は、本岐・相生団地の公営住宅整備事業につきまして、補助残分として公営住宅債 3,100 万円を予算計上しております。目 6 消防債については、44 ページから 45 ページの記載になります。負担金事業となりますが負担金事業の過疎債ハード分となりますが、津別消防費の消防タンク購入事業 3,410 万円の計上となっております。目 7 教育債につきましては、トレーニングセンター増築事業分につきまして 5,210 万円を過疎債ハード分として計上したところです。目 8 災害復旧債は、平成 28 年度の台風災害に係る、これは単独分といたしまして災害復旧事業 380 万円の計上としているところです。

以上、歳入の説明とさせていただきます。

それでは、議決事項の説明をいたしますので、1 ページの条文のほうをご覧ください。

条文です。第 1 条第 1 項につきましては、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 53 億 6,600 万円とするものであります。

第 2 項につきましては、2 ページから 6 ページにかけての第 1 表のとおり歳入歳出予算を款項区分に整理し、第 1 項の予算総額とするものであります。

第 2 条につきましては、地方自治法第 230 条第 1 項により起こすことができる地方債につきまして、7 ページの第 2 表のとおり目的となる事業ごとに限度額を記載し、

限度額の合計を4億4,630万円とするものであります。なお、利率につきましては4%以内としながら、利率見直し方式を基本としておりますが、状況によっては固定金利で借り入れすることも可能という形の起債としております。また償還の方法については記載している内容としております。

続きまして第3条です。第3条は一時借入金につきまして、歳計現金の不足に対して一時的に借り入れする場合の限度額につきまして、昨年同様、借り入れ限度額を10億円とするところであります。

第4条の歳出予算の流用です。これは項を超えた流用を定めたもので、職員の人件費につきましては、予算が不足した場合、同一の款内での流用ができるものとして規定したものです。

以上、一般会計の内容をご説明申し上げましたので、ご審議のほどを宜しく願い申し上げます。

◎議案第22号～議案第24号

○議長（鹿中順一君） 続いて日程第3、議案第22号 平成29年度津別町国民健康保険事業特別会計予算についてから、日程第5、議案第24号 平成29年度津別町介護保険事業特別会計予算についてまでの3件について順次説明を求めます。

保健福祉課長、登壇の上説明願います。

○保健福祉課長（川口昌志君）〔登壇〕 ただいま、議長の発言のお許しをいただきましたので、保健福祉課が所管します3特別会計の平成29年度予算について、順次ご説明を申し上げます。

はじめに、議案第22号 平成29年度津別町国民健康保険事業特別会計予算につきまして、ご説明申し上げます。別冊の予算に関する資料に基づき説明申し上げますので、予算に関する資料の105ページをお開き願います。

平成29年度の予算総額は9億6,120万円で、前年比7,690万円、8.7%増となったところです。市町村国保の現状としては、被保険者全体に占める高年齢者の割合が高く、医療費水準が常に高いこと、本町においても、被保険者の4割以上が65歳から74歳の前期高齢者が占めている状況で、所得水準が低いということがあり、保険税の軽

減対象者は全体の5割近くとなっております。

国保は、本町と同様に小規模保険者が多いこと、高年齢化による保険税負担が重いこと、さらに人口規模や産業構造などによる市町村間の格差が大きいことという構造的問題を抱えており、医療費が伸びると保険税負担も増えざるを得ない財政上の仕組みとなっております。

これらのことから、平成30年度には現在の市町村単位の保険者から都道府県単位化とする制度に移行されることとなり、現在、国・道・国保連合会並びに保険者である各市町村において準備作業が続けられております。保険税率は、過去の制度改正による見直し、その後の医療費の増加や基金の減少等により、医療給付分と後期高齢者支援分において、均等割、平等割の引き上げで財源確保を行ってきており、また、近年では税制改正に伴って平成26年度から平成28年度まで、3年続けて4万円の限度額の引き上げも行っているところでございます。

平成29年度の予算編成につきましては、増え続ける医療給付費の増加に伴う財源不足と、基金残高がわずかとなっている状況から、一般会計繰入金では、これまで法定内繰入分と、施策分として各種保健事業等に相当する額を計上しておりましたが、さらに財源不足を補う必要から、当初予算で5,000万円の予算計上を行ったところであります。税率につきましては、最終的に、前年所得が確定する5月に国保運営協議会を開催していただき協議いただくこととしておまして、本年度予算につきましては、現行税率で算定し、不足分を一般会計からの繰り入れで財源調整を行ったところです。なお、予算編成に当たり、基礎となる世帯数は869世帯、被保険者数を1,630人と推計したところであります。

次に、予算書によりご説明を申し上げます。予算書の489ページをお開きください。

本年の歳入歳出予算の総額につきましては、第1条で、9億6,120万円と定めるものであります。

それでは、主な内容につきまして、歳出から説明を申し上げます。505ページをお開きください。款1総務費、項1総務管理費、目1一般管理費は、前年との比較で4,310万7,000円の増であります。給与費は例年どおり職員4名分の計上でございます。下段、総務一般事務経費は前年比4,293万8,000円の増ですが、主な増額の要因として

は、508 ページ下段から 510 ページ上段の、19 節、負担金補助及交付金の北海道自治体情報システム協議会への負担金で、平成 30 年度からの国保制度都道府県移行に伴う、対応するための給付及び収納システム開発費、住基連携及びネットワーク変更等の経費の計上でございます。また、北海道国保連合会負担金は、例年の保険者ネットワーク負担金の他に、新国保制度移行に係る市町村事務処理標準システム導入にかかわる経費として 3,065 万 1,000 円を含む予算計上で、これらは国及び道からの 100%補助となっております。同じページ中段の項 2 徴税費、目 1 賦課徴収費と下段の目 2 滞納処分費、511 ページ、512 ページとなりますが、項 3 運営協議会費、中段の項 4 趣旨普及費につきましては、おおむね前年同様の計上となっております。

ページ下段、款 2 保険給付費は、昨年までの給付実績等を勘案し、総額で 5 億 4,334 万 2,000 円で、医療費の伸びから前年度比 10.1%増の予算計上となっております。内訳ですが、項 1 療養諸費、目 1 一般被保険者療養給付費は、1 人当たりの療養給付費を 29 万円あまりと設定し、1,598 人で、4 億 6,342 万円の予算計上を行いました。513 ページ、514 ページになります。目 2 退職被保険者等療養給付費については、1 人当たり医療費を昨年より 16.3%増の 37 万 1,531 円と設定し、対象者数は 25 人減の 32 人と推計し、前年比 631 万 2,000 円減で予算計上しております。以下、目 3 一般被保険者療養費、目 4 退職被保険者等療養費につきましては、同様に 1 人当たりの医療費を算定し、人数分で積算して、それぞれ予算計上しております。目 5 審査支払手数料は、前年度とほぼ同額の計上でございます。項 2 高額療養費、目 1 一般被保険者高額療養費、515 ページ、516 ページになりますが、近年の医療費の伸びから、1 人当たりの医療費を 3 万 5,000 円に設定し、1,598 人で、前年比 1,497 万 8,000 円増の予算計上を行ったところです。目 2 退職被保険者等高額療養費は、対象者 32 人と前年度から減ることから、減額して予算計上をしております。目 3 一般被保険者高額介護合算療養費、目 4 退職被保険者等高額介護合算療養費につきましても、実績を勘案しながら 1 人当たりの医療費を算出して予算計上を行っているところでございます。少し飛びますけれども 517 ページ、518 ページ中段、項 4 出産育児諸費につきましては、1 人当たり 42 万円で 10 人を想定し、次の、支払手数料を含め 420 万 3,000 円の計上です。項 5 葬祭諸費は、葬祭費として 3 万円の 20 人分で、60 万円の予算計上であります。

519 ページ、520 ページになります。款 3 後期高齢者支援金は、後期高齢者医療制度への財政負担として、ルールに基づきまして 9,172 万 3,000 円、昨年より 107 万 3,000 円減での計上です。

中段の、款 4 前期高齢者納付金は、8 万 4,000 円の計上です。

521 ページ、522 ページになります。款 5 老人保健拠出金は、事務費拠出金として前年と同額の 5,000 円の計上。

款 6 介護納付金は、介護保険の 2 号被保険者にあたります 40 歳から 64 歳までの介護納付金として、示されておりますルールに基づきまして 3,085 万 7,000 円の計上であります。

款 7 共同事業拠出金は、高額な医療費の発生に伴い、保険者の急激な負担増を抑えるため、各保険者からの拠出金をもとに交付される事業でありまして、目 1 の高額医療費拠出金の高額医療費共同事業医療費拠出金は、負担金で 1 件 80 万円以上の高額療養費に対し、これまでの実績により国保連合会から示されました 2,356 万 9,000 円を計上、次の 523 ページ、524 ページになりますが、目 3 の保険財政共同安定化拠出金は、平成 27 年度からは自己負担相当額を除くすべての医療費に対して拠出することに拡大され、1 億 8,570 万 3,000 円の計上であります。

次の、款 8 保健事業費、項 1、目 1 の特定健康診査等事業費につきましては、特定健診及び特定保健指導に係る経費として、525 ページ、526 ページにわたりますが、事務経費を含めまして 344 万 9,000 円の計上であります。中段の項 2 保健事業費、目 1 保健衛生普及費は、例年の健康づくり事業経費として、啓蒙用パンフレット等の予算に加え、13 節の委託料で対象者への個別受診勧奨を行い、受診率の向上と医療費の低減につなげるため、特定健診未受診者対策業務として予算計上しております。また、各種検診助成事業は、健康づくり事業で各種がん検診やインフルエンザ、肺炎球菌予防接種への助成経費を計上。簡易脳・心血管ドック助成事業は、昨年度に引き続き 40 歳から 74 歳を対象に実施することとし予算計上しております。

527 ページ、528 ページになります。款 9 基金積立金は、国民健康保険基金の積立利息分の計上であります。

款 10 公債費、款 11 諸支出金は、それぞれ例年同様の予算計上を行っております。

次に、歳入の説明となります。495 ページ、496 ページをお開きください。

款 1、項 1 国民健康保険税、目 1 一般被保険者国民健康保険税につきましては、被保険者数を 1,598 人と設定しまして、税率等につきましては、先に申しあげましたとおり、現行の数値に基づき算定しております。また、平成 29 年度の税制改正では、保険税の 5 割軽減と 2 割軽減において、軽減基準額の改正が予定されているところであります。

予算編成におきましては、現行税率による算定を行い、合計で 1 億 7,839 万 9,000 円と前年対比 459 万 1,000 円増の予算計上になっています。次の、目 2 退職者被保険者等国民健康保険税は、前年より 25 人減の 32 人で、276 万 8,000 円を見込んでいます。

款 2 国庫支出金、項 1 国庫負担金、目 1 療養給付費等負担金につきましては、医療給付などの費用に対する国の負担分となる 100 分の 32 に相当する額に、過年度分を合わせ、前年より 757 万円増の 1 億 4,318 万 9,000 円の計上であります。

次に、497 ページ、498 ページになります。目 2 高額医療費共同事業負担金につきましては、1 件 80 万円を超える高額医療拠出金に対する国の 4 分の 1 の負担分で、589 万 2,000 円の計上です。目 3 特定健康診査等負担金は、特定健康診査並びに特定保健指導の経費に対する負担金で、基本額に対する 3 分の 1 助成で 62 万 9,000 円の計上です。項 2 国庫補助金、目 1 財政調整交付金の普通調整交付金は、市町村間における財政力の不均衡を調整するための制度に基づいて交付されるもので、医療分、介護納付金分、後期高齢者支援金分の合計額の 9%として、922 万 1,000 円、特別調整交付金、その他特別事情分として、新国保制度対応に向けたネットワークの変更費用並びに保険者規模別負担分として 2,767 万 3,000 円、保健指導事業分として 266 万 6,000 円、総体で前年比 2,677 万 4,000 円増の 3,956 万円の計上であります。次の目 2 国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金は、平成 30 年度からの制度移行に向けたシステム改修など、準備事業費に対する補助金であり、1,376 万 2,000 円の計上です。

次に、款 3 療養給付費交付金は、退職被保険者の医療等に対する費用に対して、社会保険診療報酬支払基金から交付されるもので、前年より 862 万 2,000 円減の計上となっております。

款 4 前期高齢者交付金につきましては、65 歳から 74 歳までの前期高齢者にかかわる

医療費について、各保険者間の不均衡を調整するために設けられた交付金で、前年より 147 万 5,000 円増の 1 億 8,330 万 4,000 円の計上であります。

次に、款 5 道支出金、項 1 道負担金は、499 ページ、500 ページにわたりますけれども、目 1 高額医療費共同事業負担金は、国庫支出金と同様で 80 万円以上の高額医療拠出金に対する道の 4 分の 1 の負担金でありまして、589 万 2,000 円の計上です。目 2 特定健康診査等負担金は、国庫支出金と同様の考え方で、62 万 9,000 円の計上であります。次の、項 2 道補助金、目 1 財政調整交付金につきましては、国からの調整交付金と同じく、市町村間における財政力の不均衡調整を目的として、医療費分、介護納付金分、後期高齢者支援金分に対する 9%分の交付金と、国保制度移行に伴う標準事務処理システム導入に向けたネットワーク変更に係る特別調整交付金 127 万 2,000 円を含め、2,327 万 4,000 円の計上であります。

次に、款 6 連合会支出金、項 1 共同事業交付金、目 1 高額医療費共同事業交付金は、1 件 80 万円以上の高額医療費拠出金に対する交付金として国保連合会から交付の 2,356 万 9,000 円、目 2 保険財政共同安定化交付金は、各保険者からの拠出金を財源として、医療給付費の一定割合が連合会から交付される制度ですが、前年比 1,280 万 5,000 円減の 1 億 8,570 万 3,000 円の計上を行ってございます。

次に、款 7 財産収入につきましては、国保基金に係る利子 1,000 円の計上です。

次に、款 8 繰入金ですが、項 1 他会計繰入金、目 1 一般会計繰入金の保険基盤安定繰入金は、低所得者に対する 7 割、5 割、2 割の軽減額に対する国及び道の負担分に、町負担分を含めまして 3,705 万 9,000 円を計上し、501 ページ、502 ページになりますが、その他一般会計繰入金 4,279 万 2,000 円は、内訳として、人件費・事務費分として 3,335 万円、出産育児分で 280 万円、国保財政安定化分で 664 万 2,000 円となっております。同じく、その他一般会計繰入金の施策分 6,061 万 6,000 円につきましては、内訳として、先ほど冒頭で触れましたが、基金残高がわずかであることと、高度医療の進展などによる医療給付費の増加により、厳しい財政状況が見込まれますことから、本年度当初におきまして、一般会計から繰り入れとして 5,000 万円を計上させていただき、残りの 1,061 万 6,000 円は、一昨年から実施の国保財政の安定的運営と被保険者の税負担の軽減のため、一般会計から繰り入れを行うもので、昨年同様、乳幼児医

療費など無料化による国の補助金が減額される補填分、保健事業、検診助成事業、出産育児一時金の補助残分、簡易脳・心血管ドック助成事業に相当する額を施策分として計上したところであります。項 2 基金繰入金につきましては、平成 28 年度末の残高を 250 万円余りと想定しておりますことから、当初は 1,000 円のみで計上しております。

次に、款 9 繰越金と、款 10 諸収入の各目の計上につきましては、前年と同様の考え方で、科目の設定及び予算の計上を行ったところであります。

なお、本予算編成の内容につきましては、2 月 22 日開催の国保運営協議会におきまして、審議され、答申をいただいたところであります。

それでは、489 ページに戻っていただきまして、予算の条文の第 1 条第 2 項におきまして、歳入歳出予算の款項の区分及び金額につきましては、次のページの第 1 表歳入歳出予算のとおりとしたものであります。

第 2 条につきましては、一時借入金の最高限度額を 4,000 万円と定めるものであります。

第 3 条は、歳出予算の流用について定めたものでございます。

以上、平成 29 年度国民健康保険事業特別会計の予算の説明を申し上げましたので、ご審議方よろしくお願ひ申し上げます。

続きまして、議案第 23 号 平成 29 年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算について、ご説明申し上げます。

はじめに別冊の予算に関する資料 112 ページをお開き願ひます。

後期高齢者医療保険制度は、平成 20 年度に創設され、75 歳以上の高齢者及び 65 歳以上で一定の障害を持った方を対象とする医療保険制度として、北海道後期高齢者医療広域連合会が運営主体となり、町は保険料の徴収等の窓口業務を担っているものでございます。

後期高齢者医療の保険料は、広域連合全体で算出し、前年度の確定賦課総額の割合により按分する方法がとられ、2 年ごとに保険料率の見直しがされておりますが、平成 28 年度に保険料率の改定があったため、本年度保険料の改定はありませんが、保険料軽減特例の見直しにより、前年度比で 109 万 8,000 円の増を見込んでおります。また、本年度の被保険者数を 1,247 人として算定しております。

次に予算書、536 ページからのご説明を申し上げます。

本年の歳入歳出予算の総額につきましては、第1条におきまして、8,800万円と定められたところであり、前年度当初予算比で600万円、率で0.7%の増となっています。

それでは、歳出の方からご説明申し上げます、544 ページ、545 ページをお開きください。款1 総務費、項1 総務管理費、目1 一般管理費の総務一般事務経費は、昨年より10万7,000円増の56万7,000円の計上で、委託料の健診等業務は、対象者を80人と見込んだものであります。次に項2 徴収費の後期高齢者医療保険料徴収業務は、賦課決定通知書や納付書などの諸用紙や消耗品を主なものとする徴収業務に係る経費として、50万8,000円の計上であります。

546 ページ、547 ページとなります。款2、項1、目1の後期高齢者医療広域連合納付金であります。前年比53万1,000円増の8,682万3,000円の計上で、事務負担金は、広域連合に対する事務負担金であります。全事務経費に対しまして、均等割、高齢者人口割、人口割として284万1,000円。保険料等負担金は、後期高齢者保険料の5,536万3,000円と保険基盤安定分の2,861万7,000円、諸収入2,000円、合わせまして8,398万2,000円の計上であります。

次に、款3 諸支出金につきましては、例年と同額の10万2,000円の計上でございます。

続きまして、歳入となります。540 ページ、541 ページをお開きください。

款1、項1 後期高齢者医療保険料につきましては、特別徴収、普通徴収合わせ、1,247人と算定し、1人当たり平均保険料を4万4,390円と見込み、滞納分1,000円を加え5,536万3,000円の計上であります。

款2 繰入金、項1 一般会計繰入金につきましては、目1 事務費繰入金として、広域連合への事務負担金分と一般事務費を合わせまして345万4,000円の計上であります。目2 保険基盤安定繰入金は、軽減分に対するものですが、一般会計に計上されております道負担金の保険基盤安定繰入金の2,146万2,000円、町の負担分4分の1として715万5,000円、合わせまして2,861万7,000円の計上であります。

款3 繰越金は、前年同様の計上を行っております。

款4 諸収入、項1 受託事業収入、目1 後期高齢者医療広域連合受託事業収入につき

ましては、健康診査受託分及び健診事務費分として46万1,000円の計上であります。

以下、次ページの項4雑入までは例年同様の予算計上となっております。

それでは、前の536ページに戻っていただきまして、予算条文の第1条第2項において、歳入歳出予算の款項区分及び金額につきましては、次ページの第1表歳入歳出予算のとおりとするものであります。

以上、平成29年度後期高齢者医療事業特別会計の予算のご説明を申し上げましたので、ご審議方よろしくお願いいたします。

続きまして、議案第24号 平成29年度津別町介護保険事業特別会計予算について、ご説明申し上げます。

はじめに、別冊の予算に関する資料の114ページをご覧ください。

平成29年度介護保険事業特別会計の予算編成につきましては、2025年度には団塊の世代が75歳以上となることを見据え、地域包括ケアシステムとして、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、高齢者のニーズに応じて、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく提供するシステムの確立を目指した「第6期介護保険事業計画」に基づき予算編成を行ったところです。

要介護認定者の状況は、総合事業の開始により一時的に減少し、昨年末で354人、平成28年3月末と比較しますと60人減、出現率は16.58%となっております。昨年末の高齢化率は42.45%と高い状況は続いていますが、昨年からの総合事業の実施に伴って、出現率は抑制されています。

要介護認定者は、要支援から要介護1までの軽度認定者の割合が高く、サービス利用が増加しておりますが、総合事業の実施により保険給付費から地域支援事業費に移行したことから、保険給付費の伸びは一時的に抑制されており、今後は中重度者を中心にサービス利用を見込んでいます。

昨年の小規模多機能型居宅介護事業所の開設もありますが、今後も高齢者・独居の方が増加することが見込まれ、サービスの利用増による保険給付費の伸びは予想されるのですが、保険給付費全体では前年度比2.4%減で予算計上いたしました。

それでは、予算書の548ページをお開き願います。

第1条におきまして、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億5,100万円と定めたところであり、前年当初比では1,090万円、1.9%減となったところです。

それでは、歳出のほうからご説明申し上げます。559ページ、560ページをお開きください。款1総務費は、前年度より148万1,000円減の1,759万5,000円の計上であります。項1総務管理費、目1一般管理費は、職員2人分の給与費として561ページと562ページにわたりますが、総務一般事務費を合わせて1,323万9,000円の計上です。561ページ下段、項2徴収費、563ページ、564ページの項3介護認定審査会費は、前年と同様の考え方で、それぞれ予算計上しております。565ページ、566ページとなります。項4計画策定委員会費、目1計画策定委員会費は、昨年度の次期計画策定に向けた日常生活圏域ニーズ調査事業の終了により、200万6,000円の減となっています。項5地域密着型サービス運営委員会費は4万円の計上です。

次に、下段の款2保険給付費ですが、先ほど申し上げましたとおり居宅介護サービス利用者が増えていますが、総体的には地域密着型介護サービス給付費が減しており、前年度比1,243万3,000円減の4億9,872万円の計上であります。内訳ですけれども、項1介護サービス等諸費、目1居宅介護サービス給付費については、ホームヘルパーを派遣する訪問介護、デイサービスの通所介護、ショートステイの短期入所生活介護などが主なもので、実績等を勘案しながら、前年度比7.5%増の1億1,614万5,000円の計上です。567ページ、568ページの目2の施設介護サービス給付費は、特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設サービス分で、今までの実績を勘案し、前年より103万2,000円減の1億9,287万7,000円の計上です。目3福祉用具購入給付費は、150万円、目4居宅介護住宅改修給付費は、250万円の計上で、それぞれ前年比50万円の増となっています。目5の、居宅介護サービス計画給付費は、前年比160万5,000円減の2,313万3,000円の計上。目6地域密着型介護サービス給付費については、569ページ、570ページにわたりますが、認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護サービス給付費として、前年比1,492万7,000円減の1億2,081万7,000円の計上であります。項2介護予防サービス等諸費、目1介護予防サービス給付費につきましては、要支援1、2の軽度認定者への介護サービスが、地域支援事業の総合事業へ移行となっていますので、介護予防訪問看護、介護予防福祉用具貸与分を主なものとし

て前年比 392 万 1,000 円減の計上となりました。項 3 その他諸費は、審査支払手数料になります。次の、項 4 高額介護サービス等費は、前年同額の 960 万円の計上であります。下段、項 5 高額医療合算介護サービス等費は、571 ページ、572 ページにわたりますが、前年と同額の 300 万円の計上であります。項 6 特定入所者介護サービス等費につきましても、前年と同額の 2,400 万円の予算計上となっております。

次の、款 3 地域支援事業費、項 1 介護予防・生活支援サービス事業費は、高齢者が地域において自立した日常生活を営めるよう、介護予防事業などを通して、支援することを目的とした事業で、昨年からは要支援 1 と 2 の方が総合事業として地域支援事業の中で事業実施となり、前年比 265 万 8,000 円増の 1,861 万 2,000 円の計上であります。下段、項 2 一般介護予防事業費は、573 ページ、574 ページにわたりますが、それまでの一次予防事業経費、二次予防事業経費を、平成 28 年度から一般介護予防事業としたもので、転倒予防教室や介護予防普及啓発事業、ミズナラ倶楽部、サロン事業の委託料を含めまして 691 万 3,000 円の計上であります。573 ページ下の項 3 包括的支援・任意事業費については、総額で 898 万円の計上で、前年度比 11 万 7,000 円の減となっております。目 1 総合相談事業費は、12 万 4,000 円、575 ページ、576 ページになりますが、目 2 の権利擁護事業費は 19 万円の計上です。下段の、目 3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費は、577 ページ、578 ページにわたりますが、ケアの質向上のため継続開催しているケアマネジメント研修に係る経費で、今年度は主任介護支援専門員の更新研修などにより前年度比 14 万 6,000 円増の 38 万 8,000 円の予算計上であります。577 ページ中段から下、目 4 地域包括支援センター運営費は、579、580 ページにわたりますが、地域包括支援センター運営協議会経費と事務的経費を含めまして 81 万 6,000 円の計上です。579 ページ、下段、目 5 任意事業費は、266 万 7,000 円の計上です。581 ページ、582 ページになりますが、13 節委託料では、介護給付費適正化事業や、高齢者の見守り訪問のためのホームヘルパー派遣事業などに要する経費、補助金では、成年後見制度利用支援事業ほかで 130 万 8,000 円を計上しています。目 6 生活支援体制整備事業費は、総合事業で、地域生活支援コーディネーターを配置した中で、生活支援体制整備を構築するため、社会福祉協議会に委託する事業経費 190 万 4,000 円の計上であります。目 7 認知症総合支援事業費は、583 ページ、584 ページ

にわたりますが、認知症に関する講演会経費と、委託料として平成 29 年度から北見赤十字病院と北見市、置戸町、津別町の 1 市 3 町による認知症初期集中支援チームを協働配置し、事業推進するための事業委託経費と、認知症地域支援・ケア向上事業を含み、全体で 280 万 6,000 円の予算計上となっています。目 8 在宅医医療・介護連携推進事業は、在宅医療と介護連携に関する講演会関係経費として 8 万 5,000 円の計上です。

585 ページ、586 ページとなりますが、款 4 基金積立金は、介護給付費準備基金の利息積立金として 6,000 円の計上。

款 5 諸支出金は、目 1、第 1 号被保険者保険料還付金と、目 2 国庫支出金等償還金、合わせまして 11 万 4,000 円の計上であります。

続きまして、歳入の説明となります。553 ページ、554 ページにお戻りください。

はじめに、款 1 保険料ですが、目 1 第 1 号被保険者保険料としては、被保険者数で、現年度特別徴者分が 2,005 人の 8,231 万 1,000 円、普通徴収分は 125 人で 485 万 1,000 円、滞納繰越分 1,000 円、合計で 8,716 万 3,000 円の計上で、前年度比 70 万 5,000 円の増となります。保険料額は平成 27 年度から 29 年度の第 6 期介護保険料である基準額で、月額 3,800 円となっております

次の款 2、国庫支出金につきましては、歳出における保険給付費を基に積算となりますことから、総額で前年比 261 万 8,000 円減の 1 億 3,718 万 6,000 円の予算計上であります。内訳ですが、項 1 国庫負担金、目 1 介護給付費負担金については、施設給付費に対して 15%、居宅給付費に対して 20%の国の負担分として、合わせて 8,840 万 3,000 円。項 2 国庫補助金は、全体で前年比 22 万 9,000 円減の 4,878 万 3,000 円となります。目 1 調整交付金は、介護保険給付費の 7.8%と、日常生活支援総合事業費の 5%、合計で 4,017 万 6,000 円の計上です。目 2 地域支援事業交付金、介護予防・日常生活支援総合事業分は、補助対象事業費の 20%の 510 万 6,000 円、次の目 3、介護予防・日常生活支援総合事業以外は、包括的支援事業・任意事業費の 39%、350 万 1,000 円の予算計上であります。

款 3 支払基金交付金は、目 1 の介護給付費交付金が 2 号被保険者分の介護納付金として、保険給付費の 28%、前年より 348 万 1,000 円減の 1 億 3,964 万 1,000 円の計上

です。目2地域支援事業交付金は、介護予防事業・生活支援サービス事業費の28%として、前年比88万3,000円増の714万9,000円の計上であります。

555ページ、556ページとなります。款4道支出金、項1道負担金、目1介護給付費負担金につきましては、施設給付費に対して17.5%、居宅給付費に対して12.5%の道の負担分として、7,368万円の計上であります。項2道補助金、目1地域支援事業交付金、介護予防・日常生活支援総合事業は、補助対象事業費の12.5%として、319万2,000円。目2地域支援事業交付金、介護予防・日常生活支援総合事業以外は、包括的支援事業・任意事業経費の19.5%として175万円の計上であります。

款5財産収入は、介護給付費準備基金利子として6,000円の計上です。

款6繰入金、項1一般会計繰入金、目1介護給付費繰入金については、町の負担分として保険給付費に対する12.5%、6,234万円を計上。目2地域支援事業繰入金、介護予防・日常生活支援総合事業につきましても、町の負担分として、介護予防・生活支援サービス事業経費に対する12.5%と、補助対象外事業分を合わせまして、324万7,000円を計上いたしました。目3地域支援事業繰入金、介護予防・日常生活支援総合事業以外は、包括的支援事業・任意事業経費に対する19.5%の町負担分として、175万1,000円の計上です。目4その他一般会計繰入金については、557ページ、558ページにわたりますけれども、事務費繰入金として、人件費や一般事務経費、審査会経費など合わせまして1,759万5,000円の計上であります。次に、目5低所得者保険料軽減負担金については、96万8,000円の計上です。これは、第1段階の保険料の軽減分として421人が対象で、一般会計で国負担2分の1、道負担4分の1を受け、繰入金として介護保険に繰り入れるものです。項2基金繰入金につきましては、保険料の財源補填として、準備基金から前年より240万2,000円減となる1,532万8,000円を繰り入れることとして予算計上したところです。

款7繰越金、次の、款8諸収入の各費目につきましては、科目設定としてそれぞれ1,000円の計上であります。

それでは、前の548ページにお戻り願います。

予算条文の第1条第2項におきまして、歳入歳出予算の款項の区分及び金額につきましては、それぞれ次のページの第1表のとおりとするものであります。

第2条については、歳出予算の流用について定めたものであります。

以上、平成29年度介護保険事業特別会計の予算のご説明を申し上げましたので、ご審議方よろしくお願いをし、3特別会計の説明を終わらせていただきます。

よろしくお願いをいたします。

○議長（鹿中順一君） 暫時休憩をします。

休憩 午後 2時 15分

再開 午後 2時 30分

○議長（鹿中順一君） 休憩を閉じ再開します。

◎議案第25号・26号

○議長（鹿中順一君） 続いて日程第6、議案第25号 平成29年度津別町下水道事業特別会計予算について及び日程第7、議案第26号 平成29年度津別町簡易水道事業特別会計予算についての2件について順次説明を求めます。

建設課長、登壇の上説明願います。

○建設課長（石川 篤君）〔登壇〕 ただ今、議長から発言のお許しをいただきましたので、建設課所管、2特別会計の予算につきまして説明申し上げます。

最初に、議案第25号 平成29年度津別町下水道事業特別会計予算について説明を申し上げます。

平成29年度予算の総額は4億6,540万円で、対前年比2,980万円少ない、6.0%の減となりました。これは、特環下水道費において管渠等施設整備事業の減、公債費において元利償還金減などが主な要因であります。

それでは、592ページをお開きください。

第1条で歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億6,540万円とするものであります。第2項以下につきましては、後ほど説明申し上げます。

歳出から説明申し上げますが、主なものについての説明とさせていただきますので、ご了承いただきたいと思います。

604 ページ、605 ページをお開きください。款 1 総務費、目 1 一般管理費につきましては、職員給与費、上下水道運営審議会経費、606 ページ、607 ページをお開きください。総務管理経費は、下水道事務に係る事務経費を計上しております。

608 ページ、609 ページをお開きください。款 2 特環下水道費、目 1 管渠管理費、管渠管理経費の工事請負費につきましては、公共汚水柵設置工事 216 万円、町道 138 号・141 号・189 号線道路改良舗装工事に伴う既設マンホール改修工事 252 万 8,000 円を計上いたしました。既設マンホール改修工事は、一般会計の 336 ページ、337 ページの土木費、道路橋梁新設改良費、町道整備事業の節 22 補償補填及び賠償金の下水道工事補償からの支出となります。次に、612 ページ、613 ページをお開きください。目 2 処理場管理費、処理場管理費、修繕料につきましては、下水道管理センター水処理施設、汚泥投入施設のポンプ等分解整備、その他の修繕と合わせ、996 万 9,000 円を計上いたしました。次に、614 ページ、615 ページをお開きください。13 委託料、下水道管理センター維持管理業務 4,230 万 4,000 円を計上しております。次、項 2 下水道整備費、目 1 下水道整備費、管渠等施設整備事業（補助）の委託料につきましては、下水道全体計画見直し及び事業計画変更業務 740 万 1,000 円、下水道センターストックマネジメント計画策定業務 1,230 万 1,000 円、616、617 ページをお開きください。下水道管理センター耐震診断業務 1,120 万円を計上いたしました。工事請負費につきましては、7 号汚水幹線管渠新設工事 5,800 万円、これは、現在、活汲地区は農業集落排水事業で汚泥処理を活汲で行っておりますが、これを市街地区の特定環境保全公共下水道と接続し、達美の下水処理場で一括処理するための工事であります。本年度は管渠 82m、マンホールポンプ所 3 箇所を設置し完了となり、30 年度より供用開始を予定しております。そのほかマンホールポンプ所の改築更新工事 2,880 万円、下水道管理センター電気計装設備更新工事 1,200 万円を計上いたしました。

款 3 個別排水費、618 ページ、619 ページをお開きください。項 2 個別排水整備費、個別排水整備事業では、浄化槽設置実施測量設計業務 95 万 4,000 円、工事請負費につきましては、浄化槽設置工事として 682 万 8,000 円を計上いたしました。

款 4 集落排水費、項 1 集落排水管理費、622 ページ、623 ページをお開きください。処理場管理経費の委託料、624 ページ、625 ページをお開きください。集落排水管理セ

ンター維持管理業務 574 万 6,000 円の計上となっております。

款 5 公債費につきましては、償還元金で特定環境保全下水道、個別排水、集落排水、合わせて 1 億 6,573 万円、626、627 ページをお開きください。利子で 3,207 万 9,000 円の計上となります。

次に、歳入について説明申し上げます。598 ページ、599 ページをお開きください。款 1 分担金及負担金の分担金につきましては、個別排水処理施設設置数の減少により、前年度と同じの 40 万 1,000 円。

款 2 使用料及手数料の使用料につきましては、下水道使用量の減少により、前年度比 1.9%減の 7,203 万 6,000 円を見込みました。

次に、600 ページ、601 ページをお開きください。款 3 国庫支出金、目 1 下水道費国庫補助金につきましては、7 号汚水幹線管渠新設工事及び電気計装設備改築更新工事の減により、前年度比 9.4%減の 6,579 万 7,000 円を計上しております。

款 4 繰入金につきましては、前年比 0.2%減の 2 億 5,619 万 4,000 円を計上いたしました。

款 5 繰越金については、1,000 円で科目設定となります。

款 6 諸収入、項 2 の雑入につきましては、汚泥投入施設運転費用 1,460 万 4,000 円、これは、一般会計からの負担金で 227 ページのし尿処理施設管理経費からの負担金になります。602 ページ、603 ページをご覧ください。一般会計からの汚水柵等移設補償 252 万 8,000 円、消費税還付金 15 万 7,000 円を計上しております。

款 7 町債は、特環下水道債で 4,910 万円、個別排水事業債は 450 万円を計上いたしました。

593 ページ、594 ページをお開きください。予算第 1 条第 2 項に定める第 1 表となりますが、ただいま説明いたしましたものを款項区分ごとに整理したものでございます。

595 ページをお開きください。第 2 条に定める地方債について記載のとおり総額 5,360 万円と定めたところであります。

592 ページに戻っていただきまして、第 3 条につきましては、一時借入金の最高額を 5,000 万円とするものであります。

以上、下水道事業特別会計予算について説明申し上げましたので、よろしくお願

いたします。

続きまして、議案第 26 号、平成 29 年度津別町簡易水道事業特別会計予算について説明申し上げます。先に議決いただきましたとおり、上水道事業会計と簡易水道事業特別会計を統合し、簡易水道事業特別会計でありながら企業会計制度に準じた会計基準により予算編成したものであります。

636 ページをお開きください。議決事項について説明いたします。第 1 条は、総則であります。第 2 条は業務の予定量で、給水戸数 2,267 戸、年間総給水量は、浄水で 59 万立方メートル、原水で 28 万 8,000 立方メートル、日平均給水量として、浄水 1,616 立方メートル、原水 789 立方メートル、主な建設改良事業として上里地区導水管更新実施測量設計業務 4,615 万円、共和第 1 幹線配水管更新工事 2,000 万円、大昭配水池計装盤更新外工事 819 万 8,000 円と定めたところであります。

第 3 条及び第 4 条、第 4 条の 2 につきましては、後ほど説明申し上げます。

次の 638 ページ、第 5 条企業債につきましては、639 ページの別表 1 企業債に記載のとおり 7,100 万円と定めたところです。第 6 条、一時借入金につきましては、限度額を 5,000 万円と定めるものであります。第 7 条につきましては、議会の議決を経なければ流用することができない経費について、職員給与費 2,519 万 2,000 円と定めるものであります。

第 8 条は、他会計からの繰入金及び補助金につきましては、一般会計からこの会計へ繰り入れ及び補助を受ける金額は（1）職員給与費に充てるもの 778 万円、企業債元金償還金に充てるもの 1,742 万 7,000 円、企業債利子に充てるもの 281 万円、建設改良費に充てるもの 31 万 8,000 円であります。

第 9 条、たな卸資産の購入限度額であります。538 万 8,000 円と定めたものであります。

続いて、収益的収入及び支出について説明申し上げます。これにつきましては、当該年度の企業の経営活動に伴い発生すると予定されるすべての収益と、それに対応するすべての費用を計上したものでございます。

収益的支出であります。646 ページをお開きください。収益的支出の総額は、旧簡易水道事業分の減価償却費、企業債償還利子等の営業費用の増により、1 億 7,068 万

9,000円で、前年比3,055万8,000円、21.8%の増となりました。営業費用といたしまして、1億5,294万7,000円を計上し、そのうち原水及び浄水費で724万円を計上、647ページをお開きください。配水及び給水費で1,365万3,000円を計上、649ページをお開きください。総係費として4,642万5,000円を計上。653ページをお開きください、減価償却費として8,317万7,000円、資産減耗費として244万1,000円を計上しております。

654ページ、附帯事業費用ですが、これは原水をそのまま営農用、工業用として供給している事業ですが、595万3,000円を計上し、そのうち原水及び配水費339万4,000円。655ページをお開きください、減価償却費として193万2,000円、資産減耗費として62万7,000円を計上してございます。

営業外費用として、支払利息及び企業債取扱諸費として693万4,000円、消費税として320万6,000円、雑支出として118万8,000円を計上いたしました。特別損失として46万1,000円を計上しております。

644ページをお開きください。収益的収入の総額は、1億9,033万9,000円で、統合したことにより給水収益の増、営業外収益の他会計繰入金の増により、前年比4,570万2,000円で31.6%の増を見込みました。

水道料金につきましては、統合したことにより、家事用、業務用、営農用は増加、工業用、公衆浴場用、病院用は前年並みを見込んだところであります。

645ページをお開きください。営業外収益で統合したことにより旧簡易水道事業分の人件費、企業債償還元金、利子分を一般会計から繰り入れすることとしています。

次に、658ページの資本的収入及び支出であります。資本的収支予算は、施設の稼働によって住民にもたらされる受益の程度、住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用度の増嵩に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の建設改良費、これら建設改良に要する資金としての企業債収入、現有施設に要した企業債の元金償還等の予定を示すものであります。

659ページ、資本的支出であります。前年比9,344万円2,000円増の1億4,961万1,000円を計上いたしました。項1建設改良費、目1配水施設設置費、委託料として上里地区導水管更新実施測量設計業務4,615万円、上里の取水場から上里の配水池まで

の導水管は石綿セメント管 8,866 メートルを使っており、耐震性に難があることから年次計画をもって更新するための測量設計でございます。共和第1幹線配水管更新実施測量設計業務は、共和から双葉、恩根地区に供給している管につきましては、道営事業の営農用水整備事業で整備し町に譲与があった施設です。ここ数年、年に1、2度漏水が発生することから、更新を視野に入れ測量設計するものです。

工事請負費として、大昭配水池計装盤更新外5件の実施を予定しております。

共和第1幹線配水管更新工事につきましては、前段説明いたしましたとおり、本年度は500メートルを更新するものです。

津別川横断送配水管改良路面復旧工事は、昨年豊永地区で実施しました美園橋への橋梁添架工事の舗装復旧工事を、冬季施工により復旧することができないため、29年度に実施するものです。

町道189号線、141号線移設工事は、道路改良に伴うものです。目2メーター設置費については、量水器、水道メーターの更新費用です。計量法の規定により8年ごと交換しなければなりませんので、その更新費用を計上してございます。項2企業債償還金、元金償還金は、前年比1,555万8,000円増の3,661万8,000円を計上いたしました。この要因は、統合により旧簡易水道事業特別会計の分が合算されたことによるものです。

658ページをお開きください。資本的収入は8,616万2,000円で前年度比皆増となっております。企業債、他会計繰入金、補助金、工事負担金等を見込み予算計上をいたしました。

661ページをお開きください。このページはキャッシュ・フロー計算書となっております。予算年度の資金収支を示すもので、現金のほか資金の流れを業務、投資、財務の3つの活動に分け表しております。詳しい説明は省略させていただきます、資金期末残高は2億7,946万2,000円を見込むものです。

次に、662ページは予定損益計算書となります。損益計算書は、一営業期間における企業の営業成績を明らかにするために、その期間中に得たすべての収益と、これに対応する全ての費用を記載し、純損益とその発生の由来を表示した報告書となります。

下から4行目の当年度純利益につきましては、平成29年度につきましては1,965万円

を見込むものであります。

663 ページから 665 ページまでは、平成 29 年度の予定貸借対照表です。貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、一定時点において当該企業が保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表示した報告書であります。これにつきましては、平成 28 年度の上水道決算見込み、簡易水道事業特別会計の決算見込みを元に平成 29 年度事業予定を加減して作成しております。

666 ページから 668 ページにつきましては、本年 4 月からの事業開始貸借対照表です。平成 28 年度の上水道決算見込み、簡易水道事業特別会計の決算見込みを元に作成しております。

次に、669 ページは、平成 28 年度上水道事業予定損益計算書となります。平成 28 年度の決算見込みで、下から 4 行目の当年度純利益は 9,280 万 9,000 円を予定しております。

次に、670 ページから 672 ページは、平成 28 年度の上水道事業予定貸借対照表であります。これにつきましても、決算見込みということで、672 ページ下から 5 行目、当年度純利益を 9,280 万 9,000 円と見込むものであります。

636 ページにお戻りいただき、第 3 条につきましては、収益的収入、支出の予定額を定めたものであります。水道事業収益につきましては、1 億 9,033 万 9,000 円、水道事業費用につきましては、637 ページをお開きください。1 億 7,068 万 9,000 円とするものであります。

第 4 条につきましては、資本的収入及び支出についての予定額を定めたもので、資本的収入は 8,616 万 2,000 円で、資本的支出は 1 億 4,961 万 1,000 円で、資本的収支における不足額については過年度留保資金などで補填いたします。

第 4 条の 2、特例的収入及び支出ですが、今回統合したことにより、旧簡易水道事業特別会計については、出納整理期間を設けず 3 月 31 日で打ち切り決算になります。その未収金及び未払金、上水道事業会計の未収金、未払金について、新しい簡易水道事業特別会計に引き続く金額を表示しております。

以上、簡易水道事業特別会計についてご説明申し上げましたので、この 2 会計につきましてご承認いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（鹿中順一君） 以上で、平成 29 年度の各会計の予算説明はすべて終わりました。

◎延会の決議

○議長（鹿中順一君） お諮りします。

本日の会議はこれで延会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

◎休会の決議

○議長（鹿中順一君） 次に、議案調査のため 3 月 14 日から 3 月 20 日までの 7 日間休会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

◎延会・休会の宣告

○議長（鹿中順一君） したがって、本日はこれで延会し、議案調査のため 3 月 14 日から 3 月 20 日までの 7 日間、休会とすることに決定しました。

再開は 3 月 21 日、午前 10 時です。

ご苦労さまでした。

（午後 2 時 53 分）

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

津別町議会議長

署名議員

署名議員